

平成27年度 事業報告

- 法人本部 1
- 航 5
- 地域支援センター 15
- 金沢地域活動ホームりんごの森 . . . 27
- 横浜市釜利谷地域ケアプラザ . . . 36
- 横浜市柳町地域ケアプラザ 48

平成27年度すみなす会法人本部事業報告

概説

本年度も、当法人の理念に沿い、各事業所において安定した事業を進捗させてきた。

法人では、継続して人材育成の課題に重点を置き、職位や経験年数に応じた階層別研修を本格的に実施するとともに、人材育成計画の検討を進め、『人材育成計画-平成28年度版-』を策定した。階層ごとに研修を行ったことで、事業所の範囲を超えて職員相互の関係を深めることができ、法人としての一体感を高めることにも効果が見られた。

3月に「社会福祉法等の一部を改正する法律」が成立し、今後、社会福祉法人制度改革が進められることになるが、事前に関係機関からの情報収集に努め、課題を整理してきた。

I 障害福祉部門

航においては、健康面へのきめ細かな対応など利用者支援の充実に努めるとともに、既存の建物を活用して地域住民の交流の場を設けるなど、新たな取組を進めた。りんごの森においては、ショートステイの利用希望者増加に対応するなど、ニーズに応じたサービス提供を行い、今後に向け、中長期目標の策定を進捗させた。地域支援センターでは、組織体制の強化を図り、満足度の高いサービス提供に努めた。また、義務化されたスプリングラー設置を4か所のグループホームで実施した。

II 高齢福祉・地域交流部門

地域ケアプラザでは、第3期金沢区地域福祉保健計画の策定に向け、地区別計画等について地域支援チームの一員として取り組み、地域、区社協、区役所と協働して成果を上げてきた。地域包括支援センター事業では、地域と連携した介護予防、認知症予防の講座の開催、成年後見制度の周知を行うなど、地域に根差した事業を展開してきた。デイサービス事業ではニーズに即した活動プログラムの提供、居宅介護支援事業では関係機関と連携し、在宅生活を支えるチーム作りを支援するなど、サービスの充実に努めた。

III 人材育成

1 体系的な法人主催研修の実施

年度計画に基づき基幹研修となる法人主催研修を体系的に実施してきた。

(1) 全体研修

職員全員が共通に身に付けておくべき知識や技能について学ぶ機会とした。

| 研修名 | 実施日 | 講師 | 参加人数 |
|---------------------------|-----------------------|------------------------------|------|
| メンタルヘルス研修 「職員のメンタルヘルス」 | 平成27年8月20日 8月27日 | まこと 心のクリニック院長 山田耕一 医師 | 190 |
| 人権研修 「人権と職業倫理」 | 平成27年10月29日 10月30日 | 横浜市福祉サービス協会 新鶴見事業所 新井仁子 氏 | 215 |

(2) 階層別研修

法人の全事業所の常勤・嘱託職員を対象に、経験年数や職位に応じた研修を実施した。中堅職員以上の階層については「組織活動の基本を理解する」ことを共通テーマとして、1回目に外部講師による講義、2回目はワークショップを行い、組織活動を展開する上でそれぞれに求められる役割について理解を深め、資質を向上させる機会とした。

| 研修名 | 実施日 | 主な内容 | 参加人数 |
|--------------------|-------------|--------------------------------|------|
| 第1回(採用時) 新任職員研修 | 平成27年4月1日 | 事業説明、施設見学、法人研修等 | 12 |
| | 4月2日 | 講義「接遇コミュニケーション研修」 | 14 |
| 第2回 新任職員研修 | 平成27年8月4日 | 講義「組織活動の基本を理解する」 | 12 |
| | 8月6日 | ワークショップ「これまでの振り返り」 | |
| 第3回 新任職員研修 | 平成28年2月9日 | 「今後の課題や目標を立てよう」 | 11 |
| | 2月18日 | グループワーク「これからを語る 他」 | |
| 第1回 中堅職員研修 | 平成27年7月10日 | 講義・グループワーク | 59 |
| | 7月14日 | 「組織活動の基本を理解する 等」 | |
| | 7月16日 | | |
| 第2回 中堅職員研修 | 平成27年10月6日 | ワークショップ | 35 |
| | 10月8日 | 「私たちに必要な組織性を考えよう」 | |
| 第1回 主任・副主任研修 | 平成27年6月16日 | 講義・グループワーク | 35 |
| | 6月18日 | 「組織活動の基本を理解する 等」 | |
| 第2回 主任・副主任研修 | 平成27年9月15日 | ワークショップ | 31 |
| | 9月17日 | 「私たちに必要な組織性を考えよう」 | |
| 第3回 主任・副主任研修 | 平成28年1月12日 | 講義・グループワーク | 31 |
| | 1月14日 | 「組織活動を振り返って」他 | |
| 第1回 課長補佐研修 | 平成27年6月24日 | 講義・グループワーク 「組織活動の基本を理解する 等」 | 6 |
| 第2回 課長補佐研修 | 平成27年11月24日 | ワークショップ 「事業所の将来像と組織像を考える」 | 6 |
| 第1回 管理職員研修 | 平成27年7月9日 | 講義・グループワーク 「組織活動の基本を理解する 等」 | 7 |
| 第2回 管理職員研修 | 平成28年1月12日 | 講義・グループワーク 「組織性の向上に必要なこと」 | 7 |

2 すみなす会人材育成計画の策定

前年度に引き続き、法人として「人材育成プロジェクト会議」を開催し、階層別研修の企画・実施に取り組んだ。また、前年度作成の「人材育成計画(素案)」の見直しを進め、研修実績を踏まえながら「人材育成計画—平成28年度版—」を取りまとめた。

人材育成に見識のあるゼイ・アイ・プロジェクト代表 伊藤順一氏と顧問契約を締結し、会議における助言、研修講師等を依頼し、人材育成の着実な進展を図った。

IV 法人事務局

1 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

| 回 | 実施日 | 議 題 |
|-----|-----------------|---|
| 第1回 | 平成27年 4月1日 | 第1号議案 理事長の互選について(案) 第2号議案 相談役の委嘱について(案) 第3号議案 常務理事委嘱の同意について(案) |
| 第2回 | 平成27年 5月28日 | 第1号議案 評議員の選任(案) |
| 第3回 | 平成27年 5月28日 | 第1号議案 平成26年度事業報告(案) 第2号議案 平成26年度決算(案) 第3号議案 平成27年度第一次補正予算(案) |
| 第4回 | 平成27年 10月23日 | 第1号議案 社会福祉法人すみなす会グループホームスプリングラー設置工事〔晴海・はま風・岬・灯〕に係る指名競争入札の業者選定等について(案) |
| 第5回 | 平成27年 11月20日 | 第1号議案 平成27年度上半期事業報告(案) 第2号議案 平成27年度第二次補正予算(案) 第3号議案 規程の制定及び改正(案) ・特定個人情報取扱規程の制定 ・就業規則の改正 他 第4号議案 評議員の選任(案) |
| 第6回 | 平成28年 3月24日 | 第1号議案 平成27年度第三次補正予算(案) 第2号議案 平成28年度事業計画(案) 第3号議案 平成28年度予算(案) 第4号議案 規程改正(案) ・就業規則の改正 ・経理規程の改正 他 |

(2) 評議員会

| 回 | 実施日 | 議 題 |
|-----|-----------------|--|
| 第1回 | 平成27年 5月28日 | 第1号議案 平成26年度事業報告(案) 第2号議案 平成26年度決算(案) 第3号議案 平成27年度第一次補正予算(案) |
| 第2回 | 平成27年 11月20日 | 第1号議案 平成27年度上半期事業報告(案) 第2号議案 平成27年度第二次補正予算(案) 第3号議案 規程の制定及び改正(案) ・特定個人情報取扱規程の制定 ・就業規則の改正 他 |
| 第3回 | 平成28年 3月24日 | 第1号議案 平成27年度第三次補正予算(案) 第2号議案 平成28年度事業計画(案) 第3号議案 平成28年度予算(案) 第4号議案 規程改正(案) ・就業規則の改正 ・経理規程の改正 他 |

2 防災対策の推進

「事業継続計画：通称BCP（Business Continuity Plan）」について情報収集を進め、試行的にりんごの森及び釜利谷地域ケアプラザにおいて策定を進めた。また、航においても策定に着手した。これは地震などの大規模な災害が起きた時にも施設運営が継続できるよう、また通常業務の継続が困難になった場合でも復旧が速やかにできるよう、事前に定めておく計画となる。

今後、課題等を整理し、法人全体としての防災計画の見直し・整備を進めていく。

V すみなすフェスタ等の開催について

地域交流の中心行事である「すみなすフェスタ」を6月7日に開催し、約800人の来場者があった。「すみなすフェスタりんごの森感謝祭」は9月12日に開催し、約550人の来場者があった。柳町地域ケアプラザ感謝祭は11月22日に開催した。

それぞれの地域で毎年恒例の行事として定着し、多くの方々が来場され、幅広い交流の機会を持つことができた。

VI 職員の状況

1 常勤職員数・嘱託職員数

| | 年度当初 | 退職者 | 中途採用者 | 年度末 |
|------------|------|-----|-------|-----|
| 法人事務局 | 6 | 0 | 0 | 6 |
| 航 | 45 | 10 | 6 | 41 |
| 地域支援センター | 32 | 2 | 2 | 32 |
| りんごの森 | 27 | 0 | 0 | 27 |
| 釜利谷地域ケアプラザ | 12 | 1 | 1 | 12 |
| 柳町地域ケアプラザ | 18 | 1 | 1 | 18 |
| 計 | 140 | 14 | 10 | 136 |

2 非常勤職員数

| | 年度当初 | 退職者 | 中途採用者 | 年度末 |
|------------|------|-----|-------|-----|
| 法人事務局 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 航 | 41 | 12 | 24 | 53 |
| 地域支援センター | 39 | 9 | 16 | 46 |
| りんごの森 | 24 | 2 | 1 | 23 |
| 釜利谷地域ケアプラザ | 43 | 3 | 6 | 46 |
| 柳町地域ケアプラザ | 39 | 1 | 7 | 45 |
| 計 | 186 | 27 | 55 | 214 |

平成27年度 航 事業報告

概説

近年は利用者の高齢化等による心身機能の低下から、医療機関との連携がいっそう必要となっている。本年度は、数名の利用者が1か月程度の入院治療を要したが、看護師・支援職員による利用者への日々の健康チェックや医療機関との連携による早めの通院等を着実に実施したこと等により、利用者の健康状態は全体的に良好だった。

地域で暮らす障害者や家族等への地域支援については、特に利用希望が多い短期入所と日中活動に関する事前相談等を丁寧に行いながら、柔軟で適切なサービスの提供に努めた。その他の航各事業についても当初の計画通り順調に推進することができた。

1 重点事業の進捗状況

(1) 医療的ケア体制の整備

本年度は、医療的ケア（痰の吸引と経管栄養）の必要な利用者3名に対し、新たに2名の支援職員に資格を取得させ、既に資格取得済みの職員と合わせた20名で、適切に医療的ケアを実施することができた。

(2) カフェ・ド・リアン (Café de lien) のプレオープン

地域の人たちが、航利用者の製作した作品を鑑賞し、コーヒー等を飲みながら、ゆっくりとひと時を過ごす憩い場として、また、モノ作り教室・絵画等の展示・小イベント（ミニコンサート）等を開催し、地域住民同士の交流の場として活用することを目的に、2月24日にカフェ・ド・リアンをプレオープンした。本格的な運営は次年度から行う。

- ・目的 地域交流、障害者理解、地域貢献
- ・開催日時 月・水・金（週3日）、12時30分～15時30分
- ・場所 手織り工房コパンの2階（釜利谷東）

(3) ユニットのバリアフリー化等工事

- ①C ユニット・トイレを多目的型（車いす対応型）トイレに改修し、利用者の利便性の向上を図った。
- ②C・Fユニット間にドアの設置し、職員が内部から行き来ができるようにした。これにより、職員のスムーズなCFユニットの異動が可能になり、緊急時やタイムリーな利用者支援ができるようになった。

(4) 4法人連絡会の実施

本年度から、すみなす会・横浜共生会・やまびこの里・訪問の家の4つの社会福祉法人が定例で集まり、人材育成・人材確保・職員研修等共通するテーマを中心に意見交換・

情報交換を行った。次年度も継続して実施する。なお、次年度は 4 法人が協同でできるものから実施に移していく。

(5) 金沢区法人事業所ワーキンググループの実施

すみなす会、こんちえると、聖星学園、やまびこの里、金沢養護学校による金沢区内の法人・事業所等が集まり、区内の知的障害者の的確なニーズの把握と、日中活動の場の拡充等に連携して取り組んでいくこと等をテーマに定期的に集まり、本年度も意見交換・情報交換を行った。次年度も継続して実施していく。(平成 24 年度から継続実施)

(6) 職員研修・人材育成(詳細は 12~13 ページ)

①個々の職員のキャリアや能力を適切に評価し、主体的で、実行力と責任感が強い職員の育成を図った。

②常勤、非常勤の区別なく、全ての航職員の人権意識と専門性の向上を図り、いかなる場合でも利用者の立場に立ち、適切な支援を行うことができる職員の育成を図った。

③利用者への意思決定支援を正しく理解し、利用者支援が適切に実施できる職員の育成を図った。

(7) 利用者家族との懇談会の実施

航では①ユニット懇談会、②生活介護懇談会、③個別懇談会を本年度も引き続き実施し、航職員と利用者家族との風通しの良い関係づくりと、信頼関係のさらなる醸成に努めた。(①、③は平成 20 年度から、②は平成 25 年度から継続実施)

(8) 地域との連携・交流

・防災訓練の実施

航、羅針盤(分室)、和海(分室)、コパンでは、本年度も春季、秋季の年に 2 回、災害を想定した避難訓練を職員と利用者で実施した。また、航と白山道町内会との消防応援協定(平成 14 年)に基き、本年度も秋季の航の防災訓練に白山道町内会の参加を得て避難訓練を実施した。

・地域との交流

本年度も法人主催のすみなすフェスタには多数の地域住民の参加があり、白山道町内会主催の夏祭り(お神輿、盆踊り、みかん狩り)には、航利用者・職員が多数参加して、航と地域住民との相互の交流を活発に行った。今後も引き続き、地域住民との交流を深めながら、航利用者が地域で普通に暮らせる環境づくりに努めていく。

2 平成27年度 航 事業活動収支決算概要

(単位：円)

事業活動収支総括表

| | 27年度 | 26年度 | 増減 | 備考 |
|--------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|
| 自立支援給付費収益 | 438,888,965 | 387,227,555 | 51,661,410 | 重度障害者支援加算による増 |
| その他の事業収益 | 48,176,821 | 48,873,007 | △ 696,186 | |
| サービス活動収益計(1) | 487,065,786 | 436,100,562 | 50,965,224 | |
| 人件費 | 320,786,040 | 303,910,165 | 16,875,875 | 非常勤職員の増 |
| 事業費 | 65,339,545 | 62,155,805 | 3,183,740 | コパンの家賃による増 |
| 事務費 | 48,609,717 | 48,274,591 | 335,126 | |
| 減価償却費 | 35,331,520 | 34,353,342 | 978,178 | |
| 国庫補助金取崩額 | △ 29,484,033 | △ 30,440,728 | 956,695 | |
| サービス活動費用計(2) | 440,582,789 | 418,253,175 | 22,329,614 | |
| 収支差額(1-2=3) | 46,482,997 | 17,847,387 | 28,635,610 | |
| サービス活動外収益(4) | 7,219,669 | 8,259,976 | △ 1,040,307 | |
| サービス活動外費用(5) | 3,104,140 | 2,953,270 | 150,870 | |
| サービス活動外増減差額(4-5=6) | 4,115,529 | 5,306,706 | △ 1,191,177 | |
| 経常増減差額(3+6) | 50,598,526 | 23,154,093 | 27,444,433 | |

3 事業別報告(平成28年3月31日現在)

| | 事業名 | 定員数(人) | 現員数(人) |
|-------|-----------------|--------|--------|
| 国事業 | 施設入所支援事業 | 50 | 41(注1) |
| 国事業 | 生活介護事業 | 60 | 77(注2) |
| 国事業 | 生活介護事業 (コパン) | 20 | 12(注3) |
| 国事業 | 短期入所事業 | 4 | 13(注4) |
| 横浜市事業 | 日中一時支援事業 | 若干名 | 若干名 |

(注1) 本年度に入り新規利用者1名の受け入れを行った。

(注2) 生活介護事業の定員は60人であるが、法定の超過枠(75人まで可)を使い、現員の利用者数は77人。週に2日程度の利用等もあり、延べ日数での計算で75人以下を維持している。

・利用者77人の内訳は、①施設入所利用者が36人、②グループホーム利用者が19人、③在宅の利用者が22人。

(注3) 利用者12名の内訳は、①施設入所利用者が5人、②グループホーム利用者が4人、③在宅の利用者が3人。

(注4) 本来の短期入所事業の定員は4人であるが、地域支援の拡充を図るため、施設入所定員9人分を短期入所の利用に供し、13人の利用枠で対応している。

4 利用者状況（平成28年3月31日現在）

①施設入所支援事業（ユニット）

（ ）は前年度

| 年齢階層 (歳) | 利用者(人) | | | 肢体 不自由 (人) | 自閉 (人) | 発作 (人) | 障害支援区分 | | |
|-------------|--------|----|----|------------------|-----------|-----------|--------------|-------------|------------|
| | 総数 | 男 | 女 | | | | 区分6 | 区分5 | 区分4 |
| 10～19 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 20～29 | 3 | 2 | 1 | 0 | 3 | 1 | 3 | 0 | 0 |
| 30～39 | 13 | 9 | 4 | 3 | 6 | 8 | 11 | 1 | 1 |
| 40～49 | 17 | 12 | 5 | 3 | 9 | 6 | 15 | 2 | 0 |
| 50～59 | 5 | 3 | 2 | 1 | 1 | 3 | 4 | 1 | 0 |
| 60以上 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 総数 | 41 | 29 | 12 | 7 | 20 | 18 | 35 (35) | 5 (3) | 1 (2) |
| 平均 年齢 | 41.4歳 | | | | | | 86% (88%) | 12% (7%) | 2% (5%) |

*利用者の平均年齢は41.4歳、前年度は41.2歳。

*利用者の男女比は男性71%、女性29%。

*入所施設利用者の障害支援区分は、最重度（障害支援区分6及び5）の利用者が全体で98%。

*知的障害に加え、肢体不自由（17%）、自閉症（49%）、発作などの合併症（44%）がある。

○施設入所利用者の平均障害程度区分は前年度同様5.8。

○「ユニット懇談会」は副主任・リーダー等が進行し、各利用者の日常の生活をまとめたアルバムを家族全員へ配り大変喜ばれた。懇談の際は、利用者の日常の様子や旅行等の様子を映像で紹介しながら、家族との有意義な意見交換を行うことができた。

○ユニットや日中活動の余暇活動は、利用者の意向に沿った余暇を企画し、外食、買物、季節行事（スイカ割り・凧揚げ）、カラオケ、調理（バナーキル・鍋パーティー）等多様な企画を実施し、合計で344件の余暇活動を実施した。

また、ユニットでの余暇は、誕生会を利用者の誕生月ごとに行い、入居者同士でお祝い

し親睦を深めることができた。

○本年度もユニットごとに小グループの「宿泊旅行」を行ったが、予めご本人・ご家族から、①日帰り旅行、②近場の一泊旅行、③遠方の一泊旅行から一つを選択してもらい、行先についても、①遊園地、②温泉、③牧場等から選択できるようにして利用者の皆さんの希望に添った旅行が実現できるように努めた。本年度は、「名古屋城」や「富岡製糸場」など全13回に分けて行った。

②生活介護事業（日中活動）

（ ）は前年度

| 年齢階層 | 利用者（人） | | | 肢体 不自由 （人） | 自閉 （人） | 発作 （人） | 障害支援区分 | | |
|----------|--------|----|----|------------------|-----------|-----------|--------------|--------------|--------------|
| | 総数 | 男 | 女 | | | | 区分6 | 区分5 | 区分4 |
| 15～19 | 6 | 3 | 3 | 1 | 4 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| 20～29 | 18 | 11 | 7 | 3 | 11 | 2 | 10 | 2 | 6 |
| 30～39 | 21 | 16 | 5 | 3 | 12 | 10 | 16 | 3 | 2 |
| 40～49 | 30 | 19 | 11 | 3 | 10 | 12 | 24 | 4 | 2 |
| 50～59 | 9 | 5 | 4 | 2 | 2 | 3 | 7 | 2 | 0 |
| 60以上 | 5 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 |
| 総数 | 89 | 57 | 32 | 14 | 39 | 28 | 63 (58) | 15 (12) | 11 (11) |
| 平均 年齢 | 38.2歳 | | | | | | 71% (72%) | 17% (14%) | 12% (14%) |

*利用者の平均年齢は38.2歳、前年度は38.5歳。

*利用者の男女比は男性64%、女性36%。

*生活介護事業利用者の障害支援区分は、最重度（障害支援区分6及び5）の利用者が全体で88%。

*知的障害に加え、肢体不自由（16%）、自閉症（44%）、発作（31%）等の合併症がある。

○航生活介護事業は、定員60名に対して登録利用者数77名。

○コパンの生活介護事業は、定員20名に対して登録利用者数12名。

○本年度航では新規利用者を計7名の受け入れを行い、コパンにおいては2名の受け入れを行った。

（受入れ内容）

【航】4月⇒男性2名（週5日利用）女性3名（週5日、週3日、週1日）、5月⇒男性1名（週2日利用）、9月⇒女性1名（週2日利用）

【手織り工房コパン】10月⇒女性1名（週5日利用）、3月⇒女性1名（週2日利用）

○夏季休暇中の日中活動は、本年度は、8月12日（水）～16日（日）までの5日間を

夏期休暇期間としたが、平日の12日～14日については、夏休みの行事を企画し、利用希望者に対して実施した。

(実施内容)

- ・12日(水) 楽器作り体験・音楽演奏会
- ・13日(木) 午前：流しそうめん大会、午後：ブラスバンド演奏鑑賞会
- ・14日(金) 午前：調理体験(杏仁豆腐)、午後：縁日&盆踊り会

○生活介護事業(日中活動) 懇談会の開催

・1月23日(土)に、在宅の利用者およびグループホームで生活されている利用者のご家族を対象に3年目となる懇談会を実施した。常勤・嘱託職員、非常勤職員から、動画や写真を使いながら、日々の活動の様子を説明し意見交換をすることができた。

ア) 稼働日数

○航生活介護事業の稼働日数は、航は263日(月～金)、手織り工房コパンは243日(月～金)。なお、クリスマス会などの行事等により、土曜日・日曜日も一部稼働した。

イ) 活動班・在籍者数 (生活介護事業)

(航)

| 活動班名 | 羅針盤 外注班 | 和海 紙すき 班 | 農耕 園芸班 | リサイクル班 | 陶芸班 | 手工芸 班 | アティブ 班 | 環境 整備班 | 計 |
|----------|------------|----------------|-----------|--------|-----|----------|-----------|-----------|-----|
| 利用者 数 | 9人 | 10人 | 10人 | 11人 | 9人 | 7人 | 15人 | 6人 | 77人 |

(コパン)

| | |
|------|-----|
| 利用者数 | 12人 |
|------|-----|

○クリスマス会は、前年度に引き続き横浜テクノタワーホテルで実施した。会場の狭隘化を解消するために、航の入所利用者および在宅通所利用者とグループホーム利用者との2回に分けて開催した。食事やイベントなどを行い、利用者、家族、職員が懇親を深めることができた。

○利用者への工賃は、作業収入から材料費を除いた利益の中から、一人あたり月額1,000円(週5日利用の場合)を支払い、賞与については、個人の作品の売り上げ等に応じて、基本の金額に加算して支払った。実績額：夏季賞与1,090円～20,870円、冬季賞与1,110円～15,730円、期末賞与3,220円～9,140円

③短期入所事業、横浜市日中一時支援事業

【平成27年度 短期入所事業 受入実績】

()は前年度実績

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 延べ宿泊人数 | 36 (39) | 49 (58) | 45 (57) | 49 (46) | 43 (48) | 41 (46) | |
| 延べ宿泊日数 | 316 (298) | 346 (332) | 328 (335) | 343 (342) | 334 (224) | 305 (322) | |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 延べ宿泊人数 | 44 (47) | 45 (54) | 44 (47) | 39 (36) | 42 (31) | 42 (46) | 519 (555) |
| 延べ宿泊日数 | 332 (325) | 315 (366) | 327 (369) | 303 (341) | 313 (326) | 323 (377) | 3885 (3957) |

○短期入所事業は、前年度に比して延べ利用日数で72日の減（延べ利用人数は前年度より39人減）。

- ・一人あたりの平均利用日数は7.5日
- ・利用最長日数31日/月、利用最短日数2日

*利用の主な理由

- ・介護者の休息（レスパイト） 約44%
- ・介護者の社会的理由（出張、冠婚葬祭他） 約29%
- ・介護力の低下（介護者の入院等） 約7%
- ・利用者の体験利用（宿泊練習含む） 約20%

【平成27年度 横浜市日中一時支援事業 受入実績】

()は前年度実績

| 延べ利用人数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | |
|---------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|------------|-------------|
| 4H未満 | 2 (4) | 1 (2) | 1 (3) | 2 (1) | 2 (2) | 2 (2) | | |
| 4H-8H未満 | 1 (2) | 1 (2) | 1 (3) | 2 (4) | 0 (3) | 1 (4) | | |
| 8H以上 | 2 (0) | 0 (3) | 1 (1) | 1 (4) | 1 (6) | 0 (2) | | |
| 延べ利用人数 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 総合計 |
| 4H未満 | 2 (1) | 0 (1) | 0 (3) | 1 (0) | 0 (2) | 0 (3) | 13 (24) | 41 (102) |
| 4H-8H未満 | 3 (5) | 2 (9) | 2 (10) | 3 (9) | 2 (2) | 3 (1) | 21 (54) | |
| 8H以上 | 0 (3) | 0 (2) | 2 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (2) | 7 (24) | |

5 安全への配慮

(平成 27 年度 事故件数)

() は前年度実績

| ①転倒 | ②誤与薬 | | ③外傷 | | ④所在不明 | | ⑤誤嚥 | ⑥異食 | ⑦他害 | ⑧車両 |
|------------|------------|----------|-----------|----------|-----------|----------|----------|----------|------------|----------|
| | 怠薬 | 落錠 | 通院あり | 様子観察 | 施設外 | 施設内 | | | | |
| 22 (19) | 18 (14) | 5 (3) | 4 (8) | 5 (6) | 8 (10) | 1 (4) | 1 (1) | 5 (4) | 16 (14) | 5 (6) |
| | 23 (17) | | 9 (14) | | 9 (14) | | | | | |
| 90件 (89件) | | | | | | | | | | |

①転倒は22件（前年度19件）で、前年度より3件の増加。

②誤与薬の事故件数は23件（前年度17件）で、前年度より6件増加した。下剤の使用に関する確認ミスによるものの他、与薬における職員相互の確認が不十分な状況が確認された。再度マニュアルの徹底を図ると共に職員間の連携を高めることで防止につなげていく。

③外傷件数は9件（前年度14件）となったが、転倒による打撲等の外傷の他、自傷行為等による外傷も確認された。

④所在不明の件数は9件（前年度14件）で前年度より5件減少した。特定の利用者による発生が多く、今後も更に個別支援を通して生活の質の向上を図る。

⑤誤嚥は1件。柿を提供する際、刻みが不十分であった為、咽込みにつながるがあった。

⑥異食は5件。

⑦他害行為は16件（前年度14件）で、前年度より2件増加した。

⑧車両事故は5件（前年度6件）だった。

*事故報告書については、軽微な事故でもすべて報告するよう義務づけ、施設長決済としていく。今後も事故防止の徹底に努めていく。

6 職員研修（人材育成）

○今年度は、個々の職員の研修ニーズに沿った派遣研修ができるように、各部署を統括する副主任に各職員の研修を推薦してもらうようにした。また、その際に、自己育成シートを活用してもらうようにし、双方が連動できるように実施していった。

○現場の課題解決能力の向上等に資すると思われる外部研修へ職員を派遣した。研修実績は、14種類の外部研修に延べ21名の職員を派遣し、医療的ケア実務者研修として、特定対象研修に2名の職員を派遣した。

また、年度内に航の入所者の一人に医療的ケアが必要になった方が増えたため、既に特定対象の資格を取得している職員5名に追加の実地研修を受講させた。

○内部研修では、過年度に引き続き、グループワークを中心とした職員の参加しやすい研修を実施した。日々の実践に結びつくような内容を盛り込む一方で、主任・副主任・リーダーを中心とした主任リーダー会議で検討した「航の意思決定支援」の報告会を行い、指導的職員らが主体的に取り組んだ内容を各部署の職員に伝えられる機会を持てるようにした。

【平成27年度 内部研修実績】

| 月 | 研修内容 | 主催 | 講師名 | 講師所属 |
|-----|--|-------------|----------------|-------------|
| 4月 | 【新任職員研修】法人各事業説明・見学 | 法人 | 施設長・所長 | すみなす会 |
| | 『オリエンテーション』『新任職員へ期待すること』『私たちの仕事で大切にしていること』『わたしの行動目標を作ろう』 | 航 | 施設長・課長・課長補佐・主任 | 航 |
| | 【法人マナー研修】コミュニケーション・電話対応 | 法人 | 岩井昌江氏 | Flight Plan |
| 5月 | 【ICFを活用した利用者理解】講義およびワークショップ形式 | 航 | 課長・課長補佐・主任 | 航 |
| 6月 | 【知的障害のある方への合理的配慮】講義およびワークショップ形式 | 航 | 課長・課長補佐・主任 | 航 |
| 7月 | 【個別支援計画作成について】講義およびワークショップ形式 | 航 | 課長・課長補佐・主任 | 航 |
| 9月 | 【記録の取り方】講義およびワークショップ | 航 | 課長・課長補佐・主任 | 航 |
| 10月 | 【感染症予防と対策について】講義と演習 ・嘔吐物処理方法・衛生管理方法 | 航 | 課長・課長補佐・主任 | 航 |
| 11月 | 【航の意思決定支援を考えよう】報告会 ・プロジェクトの説明・実践報告 | 航 | 主任・副主任・リーダー | 航 |
| 12月 | 【応急手当訓練】講義と演習 「心肺蘇生法」「気道異物除去法」 | 航 | 課長・課長補佐・主任 | 航 |
| 1月 | 【KYT（危険予知訓練）演習】講義およびワークショップ | 航 | 課長・課長補佐・主任 | 航 |
| 2月 | 【人権研修】 | 法人障害 3部門 | 村岡福藏氏 | 障害者支援センター |

7 その他

(1) 苦情解決

苦情受付

1：苦情相当件数 0件（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

2：内容

| 苦情の内容 | 26年度 | 27年度 |
|--------------------|------|------|
| ① 虐待・放置・脅迫・詐取に関する事 | 0件 | 0件 |
| ② サービス・支援内容に関する事 | 1件 | 0件 |
| ③ 個人の嗜好・選択に関する事 | 0件 | 0件 |
| ④ 利用者の所持金に関する事 | 0件 | 0件 |
| ⑤ その他 | 0件 | 0件 |
| 計 | 1件 | 0件 |

(2) 避難訓練

平成27年度の航の避難訓練は、10月24日と3月18日に実施した。いずれも大規模地震の発生により、航内で火災が出たという想定で、ユニット利用者の避難・誘導訓練や職員を対象に消火器の仕組みの学習と水消火器による消火訓練を実施した。

・10月の避難訓練では白山道町内会から15名の参加があった。地域の方々の積極的な協力を得て、安全に利用者を二次避難場所まで避難誘導する訓練を行った。

（参加者71名：利用者、職員）

・3月の避難訓練では日中活動が行われている時間帯に震災が発生し、火災が出たという想定で避難訓練を行い消防署への報告を行った。（参加者77名：利用者、職員）

・航の従たる事業所2か所と手織り工房コパンにおいてもそれぞれ避難訓練を実施した。「和海」（金沢区釜利谷東）では、9月25日（火災想定）と2月12日（地震想定）に実施し、「羅針盤」（金沢区泥亀）では、3月22日（地震想定）に実施した。また、「手織り工房コパン」（金沢区釜利谷東）においても、11月27日と3月18日（いずれも地震想定）で実施した。

概説

地域支援センターは本格的に稼働して2年目となった。地域支援センター全体のサービス利用契約者等、数は、この一年で205名から252名、職員数は登録ヘルパーを含め118名となり増加の一途をたどっている。各事業共通で重点項目として掲げた組織体制の強化や人材育成等、概ね達成することが出来、さらに、4事業共にほぼ順調に運営することができた。今後、組織規模の拡大が想定される地域支援センターにあって、組織体制の強化は必須課題でもあり、本年はその基盤を作る年となった。

共同生活援助事業（グループホーム）は、消防法の改正により、全ホームのスプリンクラー設置に向け今年度は、4ホームについて実施した。安全で安心できる生活の場としてハード面での整備を進めた。

1 重点項目の実施状況

（1）事業推進体制の強化（各事業共通）

① 組織体制の強化

地域支援センターの各事業の連携をより一層深める為、日常的な情報交換を積極的に行い、各代表者が参加する会議を定期的を実施した。運営の進捗状況、利用者や職員状況、さらに事故や苦情について等、情報を共有しながら、各事業が共通の理解のもとで事業を運営出来るように努めた。それにより、協力体制が整うなど、地域支援センターの組織体制の強化に繋がった。また、主任の育成に力を入れ、運営管理の面で主任の業務見直しと権限の委譲により組織的な運営が図れた。

② 人材育成

本年度は内部研修に力を入れた。各4事業が各々に特徴ある研修を実施し、他の事業の職員も参加を行った。多様なサービスを提供していくうえで、職員の質の向上に繋がった。内部研修の件数は前年度比で10件から18件、延べ人数で197人から314人、外部研修は前年度と同様な件数で69件、延べ人数で133人であった。

③ コミュニケーションの活性化

自己育成シートによる自己評価や上席者との面談の回数を複数回行い、組織的に多くの職員が関わることでコミュニケーションの活性化を図る事が出来た。また、報告・連絡・相談による日常的な会話を多くすることで、風通し良い関係を築くことができた。

（2）地域との連携の推進

各事業とも地域との連携について、取り組んだ。各事業で連絡会や協議会等に継続的に積極的に参加し、地域との関係を深めた。また、指定特定計画相談支援事業では周知活動、横浜市障害者後見的支援推進事業では、普及啓発活動を継続して行った。ケアステーション心海においては計画相談や他事業所からの依頼、近隣の住人からの

利用希望等、地域住民からの新規利用があった。共同生活援助事業では引き続き町内会に入り行事に参加するなど連携に努めた。今年度も御仲井赤坂町内会へ手子神社例大祭時の休憩所として晴海の駐車場の場を提供した。

(3) 共同生活援助事業（グループホーム）※国事業

3区に展開している11ホームは、4事業の中で一番規模が大きい。今年度、重点項目に掲げた「組織体制の強化」は、主任の業務見直しにより、主任を軸とした事業の展開が図る事が出来、これにより、重点項目の実施にも多岐にわたり影響し、全体を通しスムーズに事業を展開することができた。

□重点課題の実施状況

ア. 組織体制の強化と勤務体制の見直し

主任を中心に運営してきた事が組織体制の強化となり、副主任の役割も明確となった。さらに、本年4月から重度加算要件が大きく変更し、増収となったことで、休日の非常勤雇用など複数職員配置をし、勤務体制の見直しを図った。しかし、常勤職員の不足により、一部の職員の変則勤務が恒常的に発生することになった。

イ. より質の高いサービスの実施

サービス管理責任者は法定基準では、グループホームの場合、30人に一人配置することになっている。現在、11か所、54名に4名のサービス管理責任者を配置しているが、より質の高いサービスの実施に向け、資格取得者を2名増員し、合計7名となった。また、個別支援計画書は年度当初にホーム毎に内部研修を実施し、さらに本人の希望に添ったサービス、さらに満足度の高いサービス、さらに支援側が同一サービスととなるよう努めた。個別支援計画の優先順位の高い余暇支援では、年1回のホームごとの「宿泊旅行」を10ホームが2泊3日で実施し、充実した旅行となった。障害者差別解消法の取組の一環として、4月より個別支援計画にルビをつけ、本人への説明を行った。

ウ. 職員のスキルアップ研修の充実

入居者の高齢化、重度化に伴い、緊急時対応の必要性が高くなっている。応急手当普及員の資格取得者を増員し、職員の普通救急救命の研修を行った。また、震災時などの安全意識の向上の為に、6名の常勤職員を防火・防災研修へ派遣し、防火管理者資格を取得した。これで合計15名が取得した。重度加算要件の変更により一定の職員が強度行動障害の研修を受講しスキルアップにも繋がった。

エ. 利用者家族との信頼関係を深める

本年度も継続して年2回の会計報告会を実施し懇談会を実施した。また、2月には管理職による個別懇談会（希望者）を継続して実施した。意見交換や情報提供を行い信頼関係を深めた。

オ. スプリンクラーの設置

消防法の改正により全てのグループホームのスプリンクラーの設置が義務つけられた。(平成30年3月31日まで)今年度は、晴海・はま風・岬・灯の4ホームの設置を行った。設置工事が遅れることもあったが、4ホームとも無事年度内に設置が完了した。

●共同生活援助事業 事業所 ※国事業

| 事業所名 | | 定員(人) | 現員(人) | 事業所名 | | 定員(人) | 現員(人) |
|------|---------|-------|-------|------|------|-------|-------|
| 1) | 晴海 | 5 | 5 | 7) | いづみ | 5 | 5 |
| 2) | なかなかホーム | 5 | 5 | 8) | アイリス | 5 | 5 |
| 3) | 拓海 | 5 | 5 | 9) | はま風 | 5 | 5 |
| 4) | 歩海 | 4 | 4 | 10) | 岬 | 5 | 5 |
| 5) | 希海 | 4 | 4 | 11) | 灯 | 6 | 6 |
| 6) | つばき | 5 | 5 | | | | |
| 合 計 | | | | | | 54 | 54 |

●共同生活援助事業 利用者状況(平成28年3月31日現在) () 前年度実績

| | 事業所名 | 運営 開始日 | 所在地 | 構成(人) | | 平均年齢 (歳) | 身 障 | 自 閉 | 発 作 | 障害支援区分 | | | | | |
|----|-------------|--------------|-------------|-------|----|----------------|--------|--------|--------|------------|-----------|------------|----------|----------|----------------|
| | | | | 男 | 女 | | | | | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 平均 |
| 1 | 晴海 | H16. 4.1 | 金沢区 釜利谷東 | | 5 | 54.2 (53.2) | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | | 4.8 (4.8) |
| 2 | なかなか ホーム | H16. 4.1 | 中区 本郷町 | 3 | 2 | 42.2 (41.2) | 1 | 2 | | 1 | 3 | 1 | | | 5.0 (4.8) |
| 3 | 拓海 | H17. 4.1 | 金沢区 大道 | 5 | | 53.8 (52.8) | | 1 | 1 | 3 | 2 | | | | 5.6 (5.6) |
| 4 | 歩海 | H18. 4.1 | 金沢区 釜利谷南 | | 4 | 53.5 (52.5) | 1 | | 1 | 2 | | 2 | | | 5.0 (5.25) |
| 5 | 希海 | H19. 4.1 | 金沢区 六浦 | 4 | | 45.0 (44.0) | | 2 | 1 | 3 | 1 | | | | 5.75 (5.5) |
| 6 | つばき | H20. 10.1 | 金沢区 朝比奈 | | 5 | 41.4 (40.4) | 1 | | 1 | 1 | 2 | 1 | | 1 | 4.4 (4.2) |
| 7 | いづみ | H22. 4.1 | 泉区 和泉町 | 3 | 2 | 42.4 (41.4) | 1 | 2 | 2 | 4 | | 1 | | | 5.6 (5.4) |
| 8 | アイリス | H22. 4.1 | 泉区 和泉町 | | 5 | 44.4 (43.4) | 2 | | 2 | | | 3 | 2 | | 3.6 (3.4) |
| 9 | 岬(旧帆海) | H22. 4.1 | 金沢区 釜利谷東 | 5 | | 37.2 (36.2) | 2 | 2 | 4 | 4 | | 1 | | | 5.6 (5.6) |
| 10 | はま風 | H23. 3.1 | 金沢区 釜利谷東 | 5 | | 45.2 (44.2) | | 1 | 3 | 5 | | | | | 6.0 (6.0) |
| 11 | 灯 | H26. 4.1 | 金沢区 釜利谷東 | | 6 | 52.0 (51.0) | 3 | 1 | 2 | 4 | | 2 | | | 5.3 (5.3) |
| | 計 | | | 25 | 29 | 46.4 (45.4) | 12 | 12 | 18 | 29 (26) | 9 (12) | 12 (11) | 3 (4) | 1 (1) | 5.15 (5.07) |

*利用者の平均障害支援区分は前年度5.07から本年度5.15に上がった。

利用者の高齢化、認定調査の変更に伴うものが要因。

※利用者の障害支援区分は、区分6及び5の利用者が全体の70%。

※利用者の男女比は、男性46%、女性54%。

●利用者の日中活動先（単位：人）

（平成28年3月31日現在）

| | | 就労 | 就労移行 支援 | 就労継続 支援：B | 航 生活介護 | その他 生活介護 | 地域活動支援 センター型 | 小規模 作業所・他 | 介護保険 サービス | 計 |
|----|---------|----|------------|--------------|-----------|-------------|-----------------|--------------|--------------|----|
| 1 | 晴海 | 1 | | 1 | 2 | 1 | | | | 5 |
| 2 | なかなかホーム | | | 1 | | 2 | 1 | 1 | | 5 |
| 3 | 拓海 | | | | 3 | 1 | | | 1 | 5 |
| 4 | 歩海 | | | | 2 | 1 | | 1 | | 4 |
| 5 | 希海 | | | | 3 | 1 | | | | 4 |
| 6 | つばき | 1 | | | 2 | 2 | | | | 5 |
| 7 | いづみ | | | | | | 3 | 2 | | 5 |
| 8 | アイリス | 1 | | | | | | 3 | 1 | 5 |
| 9 | はま風 | | | | 5 | | | | | 5 |
| 10 | 岬 | | | | 2 | 1 | | 2 | | 5 |
| 11 | 灯 | | | | 3 | 2 | | 1 | 1 | 7 |
| | 計 | 3 | 0 | 2 | 22 | 11 | 4 | 10 | 3 | 55 |

※灯 1 名複数サービスを利用

（4）指定特定相談支援事業（計画相談）

平成25年8月から事業を開始し、障害児者の抱える課題解決のために適切なサービスの利用が出来るよう、サービス等利用計画の作成や、モニタリングを行った。また、生活全般にわたる相談にも対応した。区役所や各関係機関と密接に連携をとりながら日々の相談業務へ当たった。区内での、計画相談事業所及び相談支援専門員が不足しているため、利用希望の問合せが多かった。

□重点課題の実施状況

ア.区内相談支援事業所間の連携（ネットワーク作り）

定期的開催される南部ブロック地域活動ホームミーティングへ出席し、各事業所の契約数や現状等意見交換を行った。また、金沢区地域活動ホームりんごの森の相談員と連携し、困難ケースのサービス調整や社会資源についての相談を行なった。さらに、在宅医療相談室や横浜市総合リハビリテーションセンター等と連携し、在宅で単身生活を送る方や、家族で生活を送る方に対するサービス調整を行った。

イ.地域課題解決に対する積極的な参画

定例の自立支援協議会の事務局会や相談関係部会への出席、区役所主催の金沢区進路相談会に出席した。金沢区社会福祉協議会が主催している移動情報センター推進会議への参加を行い、障害を持つ方の移動手段についての課題や、サービス提供事業所からの困難ケース等について話し合いをした。

ウ.計画相談支援の制度及び利用方法についての周知活動

周知活動は同法人事業所向けに1回実施した。制度の概要と、サービス更新の際

に区役所から送付されてくる「サービスについての意向確認書」の記入方法の説明を行った。また、計画相談についての動きを理解してもらうために事例を通して計画相談サービスについての説明を行った。

工.相談支援専門員のスキル向上

指定特定相談支援事業者及び指定障害児相談支援事業者を対象とした研修への参加や、パーソナリティ障害についての研修へ参加を行なった。

●相談実績（H27年4月～H28年3月）

（ ）前年度実績

| 実績 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---------------|--------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|----------|-------|------|----|
| 相談実績 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | H28.3末現在 | | | |
| | | 単位 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | |
| 計画相談 | 契約数 | GH/航 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 8 | |
| | | | (0) | (1) | (0) | (0) | (3) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (4) | |
| | | 外部 | 2 | 3 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16 |
| | | | (2) | (0) | (2) | (0) | (3) | (4) | (1) | (2) | (0) | (3) | (2) | (6) | (25) | |
| | 年度計 | | 3 | 3 | 2 | 3 | 1 | 0 | 2 | 7 | 3 | 0 | 0 | 0 | 24 | |
| | | | (2) | (1) | (2) | (0) | (6) | (4) | (1) | (2) | (0) | (3) | (2) | (6) | (29) | |
| | トータル | | 55 | 58 | 60 | 63 | 64 | 63 | 65 | 72 | 74 | 74 | 74 | 74 | 74 | |
| | サービス内容 | 新規・更新 | 4 | 3 | 4 | 4 | 6 | 7 | 4 | 9 | 8 | 8 | 7 | 10 | 74 | |
| | | | (2) | (1) | (2) | (0) | (6) | (6) | (2) | (3) | (5) | (5) | (6) | (7) | (45) | |
| | | モニタリング | 17 | 18 | 18 | 14 | 18 | 21 | 13 | 8 | 9 | 13 | 16 | 9 | 174 | |
| (16) | | | (14) | (17) | (6) | (5) | (16) | (16) | (13) | (15) | (8) | (16) | (16) | (158) | | |
| 計 | | 21 | 21 | 22 | 18 | 24 | 21 | 17 | 17 | 17 | 21 | 23 | 19 | 241 | | |
| | | (18) | (15) | (19) | (6) | (11) | (22) | (18) | (16) | (20) | (13) | (22) | (23) | (203) | | |
| | | 単位 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | |
| 基本相談 | 就労に関する相談 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | |
| | | | (1) | (1) | (0) | (1) | (0) | (0) | (1) | (0) | (0) | (2) | (1) | (0) | (7) | |
| | 制度・サービスに関する相談 | | 2 | 2 | 4 | 6 | 1 | 7 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 30 | |
| | | | (0) | (1) | (2) | (1) | (0) | (1) | (4) | (2) | (4) | (2) | (7) | (6) | (30) | |
| | 法人サービスの利用相談 | | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 | 1 | 2 | 0 | 1 | 12 | |
| | | | (1) | (2) | (1) | (0) | (1) | (1) | (0) | (1) | (1) | (0) | (0) | (0) | (8) | |
| | 社会資源の情報提供 | | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 | |
| | | | (3) | (2) | (1) | (0) | (0) | (1) | (0) | (0) | (1) | (0) | (2) | (0) | (10) | |
| 関係機関との連絡調整 | | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 10 | | |
| | | (0) | (2) | (0) | (2) | (1) | (4) | (1) | (1) | (3) | (2) | (2) | (4) | (22) | | |
| 権利擁護・成年後見に関する相談 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | 0 | | |
| その他生活上の相談 | | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 13 | | |
| | | (1) | (3) | (3) | (1) | (3) | (0) | (0) | (0) | (0) | (2) | (1) | (2) | (16) | | |

(5) 居宅介護事業・横浜市移動支援事業（ケアステーション心海）

障害者を対象にした居宅介護事業・横浜市移動支援事業の2事業は、2名のサービス提供責任者を配置し、事業の拡大を図った。また、経費節減の為、バイクを1台購入した。2事業共に前年度と比較し、新規契約者数は少ないものの、稼働利用者数（A）や延べ稼働時間数（B）を大きく数字を伸ばす事ができた。

- ・居宅介護事業：（A）2倍（682人）、（B）2.5倍（1065.5時間）

- ・横浜市移動支援事業：(A) 1.5 倍 (933 人)、(B) 1.6 倍 (3092.5 時間)

利用契約者は、居宅介護事業の場合、当法人のグループホーム利用者より在宅者が多いのに比べ (3 倍) 横浜市移動支援事業は、逆に、当法人のグループホーム利用者が在宅者より多かった (1.3 倍)

□重点課題の実施状況

ア.新規利用者の開拓・獲得

計画相談事業所や他事業所からの依頼や、近隣に住んでいる方々からの利用希望があった。特に法人内のグループホームに積極的に働きかけ、移動支援、通院介助 (居宅) の契約となったが、居宅介護では、身体介護 (夕方の入浴介助) の需要が多いものの稼働可能な登録ヘルパーが少なく、件数を伸ばせなかった。介護職員初任者研修 (ヘルパー2 級) や介護福祉士の有資格が少なく、サービス提供責任者が身体介護サービスを提供することが多かった。

イ.登録ヘルパー確保に向けた人材募集

当法人内の各事業所に募集の広告を配布し掲示を依頼した。2 名の非常勤職員の登録があった。また、新聞折込広告での募集や聖星学園へヘルパー募集のチラシを持参した。さらに、近隣のスーパー等にヘルパー募集掲示を依頼した。了解が取れたスーパーは 1 件であった。稼働中のヘルパーからの紹介もあったが、年間通して新規登録ヘルパーは 12 名に留まった。登録は、当事業所主催の知的障害者ガイドヘルパー養成研修受講終了者からの登録が多かった。稼働時間が日中を希望するヘルパーが多く、登録に至らないケースもあった。

ウ.登録ヘルパーの研修・会議の開催

今年度からの取組として、登録ヘルパーを対象に「ヘルパー研修」を実施した。人権研修、ヒヤリハットの事例を通したディスカッション等の内容で行った。2 回実施し、6/24、7/2 で合わせて 17 名、2/25 は 13 名が参加した。また、市が主催する外部研修や、法人内「人権研修」へも積極的に参加した。

エ.知的障害者ガイドヘルパー養成研修の実施

事業を開始してから 2 回目となる「知的障害者ガイドヘルパー養成研修」を 10/29、10/31 に実施した。15 人募集し 14 名が受講した。ヘルパー2 級保持者も含め受講生の中から 7 名が登録ヘルパーとなった。内、男性は 1 名であった。

●居宅支援事業 実績 (H27 年 4 月～H28 年 3 月)

() 前年度実績

| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-----------|---|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 契約者数 | 人 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| H283(13人) | | (-1) | (0) | (0) | (0) | (0) | (2) | (1) | (1) | (0) | (-1) | (2) | (0) | (4) |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------|------|--------|--------|------|------|-------|--------|-------|------|------|-------|------|---------|
| 延べ稼働 利用者数 | 人 | 51 | 50 | 56 | 66 | 52 | 59 | 65 | 60 | 56 | 61 | 59 | 47 | 682 |
| | | (26) | (23) | (23) | (18) | (19) | (23) | (31) | (32) | (44) | (31) | (41) | (44) | (355) |
| 稼働 時間数 | 時 間 | 62.0 | 69.0 | 83.5 | 86.5 | 72.5 | 101.0 | 109.0 | 104.5 | 88.5 | 99.0 | 104.0 | 86.0 | 1065.5 |
| | | (33) | (24.5) | (25.5) | (19) | (21) | (30) | (42.5) | (41) | (51) | (33) | (47) | (50) | (417.5) |

●横浜市移動支援事業 実績（H27年4月～H28年3月） () 前年度実績

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--------|-------|---------|---------|---------|-------|-------|---------|-------|---------|-------|-------|---------|--------|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 契約者数 H28.3(57人) | 人 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 11 |
| | | (2) | (1) | (2) | (3) | (2) | (3) | (2) | (0) | (1) | (2) | (0) | (3) | (21) |
| 延べ稼働 利用者数 | 人 | 61 | 63 | 66 | 64 | 73 | 82 | 89 | 83 | 82 | 88 | 95 | 87 | 933 |
| | | (32) | (47) | (45) | (49) | (39) | (58) | (49) | (57) | (56) | (55) | (53) | (56) | (596) |
| 稼働 時間数 | 時 間 | 215.0 | 238.5 | 225.0 | 219.0 | 240.0 | 260.0 | 256.5 | 258.5 | 260.5 | 283.0 | 282.0 | 256.5 | 3094.5 |
| | | (99) | (129.5) | (133.5) | (127.5) | (123) | (167) | (127.5) | (169) | (179.5) | (211) | (199) | (176.5) | (1842) |

●登録ヘルパー 実績（H27年4月～H28年3月） () 前年度実績

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 新規登録者 | 人 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 3 | 0 | 3 | 12 |
| | | (4) | (0) | (2) | (1) | (2) | (1) | (0) | (1) | (0) | (0) | (10) | (5) | (26) |
| 登録抹消者 | 人 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 7 |
| | | (0) | (0) | (0) | (1) | (1) | (0) | (1) | (0) | (1) | (0) | (0) | (3) | (7) |
| 登録者数 H28.3(38人) | 人 | 34 | 34 | 32 | 31 | 31 | 30 | 30 | 30 | 34 | 37 | 37 | 38 | 38 |
| | | (19) | (19) | (21) | (21) | (22) | (22) | (22) | (22) | (22) | (21) | (31) | (33) | (33) |

- * 居宅介護では、ショートステイの利用や入院、死亡があり、月実績に変動があった。
- * 移動支援では、天候(台風等)によるキャンセルがあり月実績に変動があった。
- * 重度訪問介護については、今年度もサービス提供がなかった。

(6) 障害者後見的支援推進事業（金沢区障害者後見的支援室 帆海）

事業開始から2年が経過した。本年度末での総登録者数は54名となった。今年度の登録者数15名中、40代以上が12名と7割を超えた。そのため、親が高齢もしくはどちらかが亡くなっているケースが多かった。また、単身生活者の増加も目立った。障害種別では知的障害が半数を占め、続いて肢体不自由、精神障害だった。家族の希望では、成年後見制度の利用を望むケースが数件あった。職員は4月に担当職員の交代はあったものの、あんしんサポーターが初年度から変わらず、また、登録者の増加に伴い、年度途中でサポーターを2名増員した（6名体制へ）。

□重点課題の実施状況

ア. 障害者後見的支援制度の普及啓発の推進

制度説明会を中心に普及啓発に努めた。家族や支援者、当事者、民生委員に向け

て行った。民生委員にはあんしんキーパーの説明を中心に行った。また、広報よこはまの金沢区版に掲載され、第3期金沢区地域福祉保健計画には制度が紹介された。昨年度の登録者がケアプラザなど関係機関からの紹介がほとんどだったことから、福祉関係者にはかなり周知されたと思われる。

イ.あんしんサポーターの育成

幅広い登録者に対応するため、多種多様な研修に参加した。障害や制度についての講義を受けたり、当事者や家族の話を聞いた。新人サポーターは、生活介護事業所やグループホームでの現場研修を行った。それらにより、障害理解を深めることができた。市全体の事例報告会では、サポーター発案の内容で発表した。支援室内においては、必要に応じて話し合う機会を日々設けた。従来からの会議に加え、サポーター会議を行い、サポーター同士で経験を共有し、悩みを話し合った。時にはそこから、支援室の職員会議に議題をあげた。経験を積み、研修で学び、話し合いを重ねることで着実に力をつけていった。

ウ.登録者へあんしんキーパーの有用性を伝える

日常的な見守りを行うあんしんキーパー（以下キーパー）は、実人数 29 名、うち地域の支援者は 1 名、他は登録者の日中活動先の職員であった。今年度、地域の支援者は増えなかった。また、キーパーをつけている登録者は 11 名となった。キーパーの有用性について、登録時や支援計画作成の聞き取りの際に伝えしたが、必要性を感じてもらうまでには至らなかった。

エ.金沢区役所、区社協との連絡会の開催

区役所、区社協との連絡会を、6月、11月、3月の3回開催した。帆海の活動や登録者の状況を報告した。区や区社協からは周知活動についての助言や区の状況についての情報提供を受けた。

●後見的支援推進事業 相談受付実績（H27年4月～H28年3月） （ ）前年度実績

| 内 容 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 制度案内 | 3 | 0 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 4 | 25 |
| | (9) | (2) | (4) | (3) | (1) | (5) | (3) | (1) | (2) | (0) | (3) | (4) | (37) |
| 継続相談 | 3 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 18 |
| | (4) | (3) | (0) | (0) | (2) | (2) | (1) | (1) | (1) | (0) | (0) | (2) | (16) |
| 他制度紹介 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| | (0) | (1) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (1) |
| その他 | 5 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| | (5) | (6) | (2) | (4) | (2) | (2) | (3) | (1) | (0) | (0) | (3) | (2) | (30) |
| 計 | 11 | 5 | 6 | 3 | 4 | 5 | 4 | 1 | 3 | 6 | 3 | 7 | 58 |
| | (18) | (11) | (6) | (7) | (5) | (9) | (7) | (3) | (3) | (0) | (6) | (8) | (83) |

●登録者数（実人数）実績（H27年4月～H28年3月）（ ）前年度実績

| 内 容 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 登録者 | 人 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 15 |
| H28.3.31(54人) | | (4) | (5) | (6) | (4) | (2) | (2) | (4) | (1) | (3) | (1) | (1) | (4) | (37) |

●周知活動 実績（H27年4月～H28年3月）（ ）前年度実績

| 内 容 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|-------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 制度説明 | 件 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 8 |
| | | (3) | (9) | (5) | (2) | (2) | (2) | (3) | (2) | (1) | (1) | (0) | (1) | (31) |
| 関係施設等 | 訪問 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | 2 | 5 | 2 | 3 | 4 | 22 |
| | | (2) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (2) |
| 計 | | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 4 | 1 | 2 | 5 | 3 | 3 | 4 | 30 |
| | | (5) | (9) | (5) | (2) | (2) | (2) | (3) | (2) | (1) | (1) | (0) | (1) | (33) |

(7) その他

①事故件数

●居宅介護事業・横浜市移動支援事業（ケアステーション心海）（ ）前年度実績

| ヘルパー派遣ミス | 急業 | その他 |
|----------|------|------|
| 2(2) | 0(1) | 0(0) |

●金沢区障害者後見的支援室 帆海（ ）前年度実績

| サービス内容 | その他 |
|--------|------|
| 1(0) | 0(0) |

●共同生活援助事業（ ）前年度実績

| ①転倒 | ②外傷 | | ③誤与薬 | | ④所在不明 | ⑤ 他害 | ⑥ 誤嚥 | ⑦その他 | | |
|----------|------|------|-------|------|-------|---------|---------|------|--------|------|
| | 通院あり | 様子観察 | 急業 | 落錠 | ホーム外 | | | 感染症 | 物損(職員) | 不明金 |
| 2(8) | 1(1) | 0(1) | 5(5) | 1(6) | 1(1) | 1(1) | 0(0) | 1(0) | 0(1) | 1(0) |
| | 1(2) | | 6(10) | | 1(1) | | | | | |
| 13件(25件) | | | | | | | | | | |

*事故件数は13件で、前年度より14件減少した。

*その他の事故は2件で、ノロウィルスによる感染症と入居者の現金が合計12万円不明となるケースであった。

※現金紛失事故について

10月8日、グループホーム拓海で入居者5名の生活費や食費など、合計12万円が不足していることが判明した。

グループホームでは、入居者の通帳・印鑑は地域支援センターで管理し、グループホームでは食費などの生活費は、スタッフルームの鍵付の書庫で管理していた。

即刻、内部で調査を実施したが、前日に勤務した非常勤職員との連絡が取れず、その後無断欠勤、さらに十数回にわたる電話やメールでの連絡に対して一切の返信はなかった。10月20日、金沢警察署へ被害届を提出し、その後もその職員に対しては再三連絡を試みたが、地域支援センターに来所せず、法人は、無断欠勤を含め、勤務成績が極めて不良であるとして、訓告処分等を経て12/27付けで懲戒解雇となった。

今回の金銭の紛失を重大な事故として受け止め、10月21日神奈川県保健福祉部障害サービス課、横浜市健康福祉局障害支援課、さらに各入居者の実施機関に事故の報告を行い、ご家族、家主へも連絡をした。(市へはその後2度経過報告をした)ご家族は、「通帳でなくて良かった」という声があったが、普段より生活費について会計報告を実施していることもあり、職員を労う声が多かった。

内部では11か所のグループホームの金銭管理について改めて実態調査を行い、職員に対しては、11月2日付で管理者から金銭管理の徹底について通知し、さらに11月9日に緊急職員会議を実施した。実態としては、スタッフルームの鍵が共有であった事など鍵の問題、さらに現金の取り扱いについて注意事項はあったものの、要項など整備しておらず、管理上の不備があった。事故後、主任を中心に再三対策会議を重ね、現金取扱要領等、規程を整備し、平成28年2月12日緊急職員会議にて、職員へ報告。事故のあったグループホーム拓海は玄関とスタッフルームの鍵は事故後即刻付け替え、スタッフルームの鍵を限定した職員が持ち、金庫を新たに購入し、通常取り扱う現金を少額にした。他の10ホームについては順次金庫を購入していく予定である。

警察は、被害届翌日に現場検証や職員の指紋採取をしたが、本人への事情聴取はなく、犯人が特定できないまま、現在に至っている。紛失した12万円は、事業所が負担し、入居者へ返金した。

②苦情解決 (地域支援センター全体)

- 苦情件数3件(平成27年4月1日～平成28年3月31日)
- 苦情内容

| 苦情の内容 | 26年度 | 27年度 |
|--------------------|------|------|
| ① 虐待・放置・脅迫・詐取に関する事 | | |
| ② サービス・支援内容に関する事 | 2件 | 3件 |
| ③ 個人の嗜好・選択に関する事 | | |
| ④ 利用者の所持金に関する事 | | |
| ⑤ その他 | | |
| 合計 | 2件 | 3件 |

事例1 金沢区障害者後見的支援室 帆海 登録者本人からの苦情

(内容) 平成 27 年 11 月 4 日、登録者本人から事業所の留守電に「登録を終了したい」旨の連絡があった。利用者は 22 歳・男性・知的障害 B2、障害支援区分非該当。平成 26 年 3 月に登録、母は病弱で、母の希望により登録に至った。事後、本人に訴えの内容を確認する。①サポーターと話が合わない、②仕事のことを毎月聞かれるが、何故その話をするのか分からない、③家庭に訪問してくれない、④帆海が何をするとところなのか、母が何故登録したのか判らない、との訴えであった。

(対応) 登録者は本人であるが、知的障害もあり、登録抹消については家族も含め検討が必要であると判断し、家族に事情を説明した。

(再発防止の取り組み)

◇障害特性から制度を理解していないと思われる登録者には、繰り返し、日々の面談で伝えていく。

◇面談を行う場所については、登録者や家族、個々のケースに合わせ、同意を得ながら進める。

◇年齢や異性に配慮し、誤解が生じることの無いよう、担当サポーターの配置を行う。

事例 2 ケアステーション心海 ご家族からのサービス内容の苦情

(内容) 平成 28 年 3 月 24 日、9 時～15 時までのガイドヘルパー初回利用。利用後、母からの電話で苦情がある。利用者は 18 歳、男性。自閉症。ガイドヘルプは初回利用。ヘルパーは女性で大学生で経験浅かった。内容は、①15 時までと依頼していたのに 1 時間早く帰って来た、②本を購入したが、内容が本人に不適切であった ③帰宅時、ヘルパーが家に入った、との訴えであった。

(対応) すぐにご家族に連絡し、地域支援センター長とサービス提供責任者が自宅を訪問し謝罪した。当該ヘルパーには事情聴取した。

(再発防止の取り組み)

◇初回利用時はサービス提供責任者が同行が必要。

◇サービス提供責任者が利用者情報の詳細を事前に聴取する。

◇障害特性により担当ヘルパーのマッチングを考慮する。

◇緊急時の連絡について、ヘルパー全体に再度、統一確認をう。

事例 3 ケアステーション心海 ご家族からのサービス内容の苦情

(内容) 平成 28 年 3 月 24 日朝、通学・通所の移動支援利用。利用者は 14 歳、男性。当日、ヘルパーがバスの渋滞で遅れ、直接利用者宅に連絡をし、独断で当日の利用をキャンセルする。翌日、母から苦情の電話がある。また、以前にも当該ヘルパーが遅刻をすることが何度かあったとの、訴えがある。

(対応) すぐにご家族に連絡し、翌日、地域支援センター長とサービス提供責任者が自宅を訪問し謝罪した。当該ヘルパーには注意を与えた。

(再発防止の取り組み)

◇サービス提供責任者の、ヘルパー指導を徹底する。

◇緊急時の連絡について、ヘルパー全体に再度、統一確認を行う。

③横浜市実地指導調査

○金沢区障害者後見的支援室 帆海

平成28年2月8日横浜市健康福祉局障害福祉部障害企画課企画調整係が担当。運営と経理の調査。指摘事項はなかった。

(8) 平成27年度 地域支援センター 事業活動収支決算概要

(単位:円)

| | H27 | H26 | 増減 | 備考 |
|----------------------------|-------------|-------------|------------|-------------------------------|
| 障害福祉サービス等事業収益 | 325,514,819 | 278,551,531 | 46,963,288 | グループホーム重度加算、区分変更等による増・居宅500万増 |
| 寄付金収益 | 0 | 16,428 | △16,428 | |
| サービス活動収益計(1) | 325,514,819 | 278,567,959 | 46,946,860 | |
| 人件費 | 222,005,521 | 207,453,956 | 14,551,565 | |
| 事業費 | 58,855,829 | 59,004,318 | △148,489 | |
| 事務費 | 15,892,620 | 13,653,029 | 2,239,591 | |
| 減価償却費 | 2,910,066 | 2,930,920 | △20,854 | |
| 国庫補助金取崩額 | △1,305,194 | △1,272,245 | △32,949 | |
| サービス活動費用計(2) | 298,358,842 | 281,769,978 | 16,588,864 | |
| サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2) | 27,155,977 | △3,202,019 | 30,357,996 | |
| サービス活動外収益(4) | 1,102,181 | 614,185 | 487,996 | |
| サービス活動外費用(5) | 125,000 | 0 | 125,000 | |
| サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5) | 977,181 | 614,185 | 362,996 | |
| 経常増減差額(3)+(6) | 28,133,158 | △2,587,834 | 30,720,992 | |

平成27年度 金沢地域活動ホームりんごの森事業報告

概説

本年度は、緊急時のショートステイの事例が多く、想定していた泊数を大きく上回る実績となった。その事由として、ご家族の高齢化等に関連した緊急の入院などによるものも、多く見られた。地域で暮らす障害を持つご本人やそのご家族にとって、まずは、お気軽にご相談していただける場となるべく、他機関と連携して事業を進めてきた。

その他、重点項目等については、ほぼ順調に推進することが出来た。中長期目標についても早急に完成するよう、現在進めている

1 重点項目の実施状況

(1) りんごの森中長期目標の策定

中長期目標の策定に向けりんごの森全体で取り組んだ。

地域の拠点となる障害者地域活動ホームの役割を再確認したうえで進めた。事業の多さからまとめていく作業に時間を要しているが、平成28年度12月には完成の予定。

- 平成27年10月 副主任以上対象 『中長期計画策定に向けて』ワークショップ
- 平成27年11月 2回に分けて、全職員（常勤・非常勤）を対象としたワークショップ
- 平成28年1月 10月・11月のワークショップの内容を整理・まとめ
- 平成28年2月 各事業別の重点項目等の絞り込み
- 平成28年6～8月 各事業別目標骨子作成全職員への説明・確認・修正
- 平成28年9月 中長期目標骨子完成
- 平成28年12月 中長期目標完成

(2) 横浜市地域生活支援事業の推進と拡充

① 緊急時利用への対応強化

ショートステイの年間緊急対応は41件（前年度26件）、月平均3.4件であった。緊急での対応後も、利用の理由がご家族（主な介助者）の入院やご逝去等で、その後も継続した対応が必要なケースが重なり、年度当初想定していたショートステイ実績数を200泊以上上回る実績（1050泊）となった。

長期に継続が必要なケースについては、りんごの森だけで抱え込まず、航や近隣区の地域活動ホーム、他施設の短期入所施設に協力を求めることで、ご本人の安心した地域生活の継続が進めて行けるように対応を行ってきた。今後も、まずは活動ホームで受け止め、近隣区・施設との連絡調整を進め、安定した地域生活への対応・支援を進めていく。

② 自立生活アシスタント事業

平成27年度中の新規登録者数5名、解除者数2名。解除の理由は、登録条件から外れたケースと、後見的支援事業への移行であった。また、新規ケースの把握や紹介は、区役

所障害支援課の生活支援課ケースワーカーからの相談が圧倒的に多いが、その他、地域の制度に詳しいボランティアの方からの相談から、長期に埋もれていたケースの発見等もあり、自立生活アシスタント事業の浸透が重要かつ有効となるという事を痛感している。

③ おもちゃ文庫事業

今年度より、区役所の保健師や南部療育センター等と協働して、地域で暮らす発達に不安のある子どもとご家族に対し、毎月1回、発達相談会を開催した。気軽にお子さんたちと遊びながら、成長で気になることなどを相談できる時間と環境を設定することで、継続した家庭支援のきっかけとなっていくよう、次年度も継続して推進していく。

(3) 指定特定計画相談支援事業（計画相談）の推進

平成26年度より、新たに計画相談の担当職員を配置し、計画相談を進めてきた。2年目となり、利用契約も順調に増加している。相談支援委託事業を備えている地域活動ホームの計画相談事業所ということから、区からの緊急のケースなども多い事が特徴となっている。引き続き、法人地活の基幹的役割として、区と協働して計画相談の普及に努めていく。

(4) 職員の専門性の向上に向けた研修の充実

① 現場職員の他施設見学・実習の実施

平成27年度は看護職を中心に、重心施設等への見学等を行った。他の施設では医療的ケアが必要なご利用者がどのような活動をしているのか、また、看護師と支援職がどのような役割分担をしているのかなどを中心に見させていただき、参考になる部分を取り入れるべく、看護師と支援職員と一緒に活動する班での情報交換等を重ね、今後活かしていく。

② 専門性向上の推進と人権意識の向上

法人全体の階層別研修や人権研修に加え、利用者支援において必要な具体的スキルの向上をめざし、内部研修の開催及び外部研修を職員の主体性を優先した参加を進めた。

(5) 日中活動利用者のニーズに応じた支援

① 活動内容の充実

通所されている方の高齢化等で、体力の低下がみられることや、利用者が増加したことから、活動班（アップルアラカルト）を一つ増やし、計6つの班で実施した。その他、活動班を超えての合同散歩や、買い物など、気分の変えられる活動を積極的に取り入れた。

また、日帰り旅行は江ノ島水族館へ5つのグループで5日間に分けて実施した。事前にアンケートをとり、大型観光バス・公用車・公共交通（電車）の3コースに分かれての旅行であった。どのコースの皆さんも、外出行事を楽しまれている様子が見られていた。

② 地域事業所との積極的な交流

金沢区地域作業所連絡会としてバーベキュー大会に参加し他施設との交流を楽しむことができた。しかし、2月に実施した「ポレポレ交流会」については、26年度実施の際、イ

ンフルエンザの集団罹患があり、今回は時期も同じことから、りんごの森は不参加とした。

(6) 金沢区自立支援協議会の活性化

相談関係部会、啓発・防災部会、医療ケア・重心部会、精神部会、児童部会準備会や、各種研修会、計画相談事業所の普及等を実施した。また、医療ケア重心部会では、医療ケアを必要とする方々の日中通所先や移動等の課題について、コアメンバーで集まり課題を整理し、市自立支援協議会の課題検討部会へ課題提出を行った。

(7) 地域との交流の推進

9月12日(土)にすみなすフェスタりんごの森感謝祭を開催した。お子さん連れのお客様が大変に多く、今年も賑やかなお祭りとなった。パン作り体験やスヌーズレン体験など毎年、普段できないことへの参加等を楽しみにしてくださっている方もおり、地域に浸透してきているように思われる。また、日中活動のパン販売では、区内のさまざまな施設での出張販売等を継続させていただき、ご利用者にとっても、交流の一環となっている。

2 平成27年度 金沢地域活動ホームりんごの森 事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

| | 27年度 | 26年度 | 増減 | 備考 |
|------------------------|--------------------|--------------------|------------------|-------------------|
| 自立支援給付費収益 | 103,573,939 | 94,625,982 | 8,947,957 | 介護給付費 |
| 特定費用収益 | 6,198,204 | 5,298,676 | 899,528 | 利用料収入 |
| 補助金事業収益 | 3,057,800 | 4,280,030 | △ 1,222,230 | 地域活動支援センター給付費、補助金 |
| 受託事業収益 | 21,940,000 | 21,940,000 | 0 | 委託費 |
| その他収益 | 33,000 | 20,000 | 13,000 | |
| サービス活動収益計(1) | 134,802,943 | 126,164,688 | 8,638,255 | |
| 人件費 | 101,976,118 | 96,291,080 | 5,685,038 | |
| 事業費 | 16,877,589 | 17,373,657 | △ 496,068 | |
| 事務費 | 12,902,687 | 13,404,883 | △ 502,196 | |
| 減価償却費 | 15,811,732 | 15,638,082 | 173,650 | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △ 14,957,974 | △ 14,731,390 | △ 226,584 | |
| サービス活動費用計(2) | 132,610,152 | 127,976,312 | 4,633,840 | |
| サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | 2,192,791 | △ 1,811,624 | 4,004,415 | |
| 受取利息配当金収益 | 30,377 | 29,685 | 692 | |
| その他のサービス活動外収益 | 8,106,991 | 9,082,658 | △ 975,667 | 職員退職金、パンなど売上等 |
| サービス活動外収益計(4) | 8,137,368 | 9,112,343 | △ 974,975 | |
| サービス活動外費用計(5) | 2,261,700 | 2,410,000 | △ 148,300 | |
| サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | 5,875,668 | 6,702,343 | △ 826,675 | |
| 経常増減差額(3)+(6) | 8,068,459 | 4,890,719 | 3,177,740 | |

3 事業別報告（平成27年3月31日現在）

(1)「生活介護事業」「地域活動支援センター（デイサービス型）」

① 利用状況

生活介護事業 定員40人

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年 | 増減 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|------|
| 開所日数 | 21 | 18 | 22 | 22 | 21 | 19 | 21 | 19 | 19 | 18 | 20 | 22 | 242 | 242 | 0 |
| 契約者数 | 72 | 72 | 72 | 72 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 | 75 | 75 | 75 | | | |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 184 | 158 | 181 | 155 | 132 | 116 | 135 | 117 | 104 | 90 | 102 | 116 | 1,590 | 2,272 | -682 |
| 4 | 266 | 218 | 283 | 293 | 249 | 273 | 304 | 287 | 273 | 251 | 287 | 274 | 3,258 | 2,697 | 561 |
| 5 | 171 | 149 | 186 | 187 | 158 | 147 | 159 | 166 | 187 | 174 | 211 | 242 | 2,137 | 1,783 | 354 |
| 6 | 236 | 201 | 241 | 249 | 231 | 204 | 247 | 225 | 216 | 204 | 240 | 235 | 2,729 | 2,500 | 229 |
| 月合計 | 857 | 726 | 891 | 884 | 770 | 740 | 845 | 795 | 780 | 719 | 840 | 867 | 9,714 | 9,252 | 462 |
| 日平均 | 41 | 40 | 41 | 40 | 37 | 39 | 40 | 42 | 41 | 40 | 42 | 39 | 40 | 38 | 2 |

区分5・6の割合 50%（前年度46%） 平均障害程度区分 4.6（前年度4.5）

曜日別利用者

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----|----|----|----|----|----|
| 本年度 | 48 | 45 | 44 | 48 | 44 |
| 前年度 | 46 | 44 | 43 | 46 | 44 |
| 増減 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 |

地域活動支援センター（デイサービス型） 定員10人

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年 | 増減 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|------|------|
| 開所日数 | 21 | 18 | 22 | 22 | 21 | 19 | 21 | 19 | 19 | 18 | 20 | 22 | 242 | 242 | 0 |
| 契約者数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | | | |
| 非該当 | 17 | 13 | 16 | 17 | 13 | 15 | 15 | 15 | 14 | 13 | 16 | 18 | 182 | 185 | -3 |
| 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 225 | -225 |
| 2 | 41 | 35 | 40 | 42 | 35 | 38 | 39 | 37 | 35 | 35 | 29 | 32 | 438 | 424 | 14 |
| 月合計 | 58 | 48 | 56 | 59 | 48 | 53 | 54 | 52 | 49 | 48 | 45 | 50 | 620 | 834 | -214 |
| 日平均 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2.56 | 3.45 | -0.9 |

曜日別利用者

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----|---|---|---|---|---|
| 本年度 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| 前年度 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| 増減 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 年齢階層 (歳) | 利用者(人) | | | 障害支援区分 | | | | | | 知的 | 身体 | 精神 と 重複 | 知的・身体 の 重複障害 | |
|-------------|--------|----|----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------------|--------------------|-----|
| | 男 | 女 | 合計 | 区分6 | 区分5 | 区分4 | 区分3 | 区分2 | 非該当 | | | | 内 要医療 | |
| 19～29 | 17 | 13 | 30 | 15 | 10 | 2 | 3 | 0 | 0 | 9 | 2 | 0 | 19 | 11 |
| 30～39 | 14 | 7 | 21 | 5 | 3 | 11 | 1 | 0 | 0 | 9 | 2 | 3 | 6 | 1 |
| 40～49 | 3 | 10 | 13 | 3 | 1 | 3 | 5 | 2 | 0 | 5 | 3 | 2 | 4 | 2 |
| 50～59 | 6 | 3 | 9 | 3 | 0 | 3 | 2 | 0 | 1 | 3 | 3 | 1 | 2 | 0 |
| 60以上 | 1 | 4 | 5 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 総数 | 41 | 37 | 78 | 26 | 15 | 22 | 12 | 2 | 1 | 30 | 10 | 6 | 32 | 14 |
| 平均年齢 | 36.5歳 | | | 33% | 19% | 28% | 16% | 3% | 1% | 38% | 13% | 8% | 41% | 18% |

*利用者は、知的・身体障害の重複障害（41％）、精神障害又は精神障害との重複が全体の（8％）となっている。また、医療的ケアが必要な利用者は（18％）となっている。

*10年以上継続の利用者は34名（44％）となっている。

② 各活動班の状況と取り組み

・活動班

- a アップルベーカリー（パン工房）
- b アップルスイーツ（菓子製造）
- c アップルファクトリー（パソコン等）
- d アップルクラフト（手工芸）
- e アップルアート（医療的ケア、園芸等）
- f アップルアラカルト（運動中心、リサイクル等）

・その他活動

- a 運動プログラム（ダイヤビック、車いすダンス、散歩他）
- b 外販
- c スヌーズレン

通所されている方の年齢層が上がり、体力の低下が顕著にみられるものの、身体を動かしながらの活動が少ない事と利用者の増加等の理由から、新たに活動班を一つ増やした。ゲームや体操などを中心に、のんびりとしながら、運動を主体とした活動を行っている。

また、日帰り旅行は江ノ島水族館へ6つのグループで6日間に分けて実施した。事前にアンケートをとり、大型観光バスコース・公用車コース・電車コースの3コースに分かれての旅行であった。どのコースの皆さんも、外出行事を楽しんで過ごされていた。

また、開所から10年をすぎ、ご利用者全体の傾向として、長年通所をされている方と、そのご家族の高齢化が進み、りんごの森のショートステイや一時ケアをはじめ、その他の制度利用についての相談や調整が必要とされる方が多くなってきている。ご家族での介護が厳しくなり、グループホームや入所施設での生活を希望される方も出てきている。

(2) 相談支援事業

【一般相談（委託事業）】

()内は前年度

| 分類 | | 件数 (件) | 方法内訳 | 件数 (件) | |
|------------------|-------------------|------------|----------|---------------|---------------|
| 相談 内訳 | 就労に関する相談・支援 | 79(99) | 来所 | 255 (263) | |
| | 権利擁護・成年後見に関する支援 | 11(0) | 訪問 | 172 (158) | |
| | | 緊急登録窓口受付件数 | 0(0) | 電話 | 1,174 (1,100) |
| | 視覚障害者等情報弱者への朗読等支援 | 4(4) | メール郵便FAX | 117 (121) | |
| | 自施設サービスの利用相談、援助 | 631(227) | 同行 | 30 (35) | |
| | ピアカウンセリング | 0(0) | 合計 | 1,748 (1,677) | |
| | 社会生活力を 高める援助 | 健康・医療 | 63(36) | | |
| | | 家族・人間関係 | 78(34) | | |
| | | 経済・金銭 | 21(11) | | |
| | | 趣味・余暇 | 2(9) | | |
| その他生活上の相談 | | 12(7) | | | |
| 社会資源を活用するための支援 | 101(144) | | | | |
| その他（関係機関との連絡調整等） | 746(1,106) | | | | |
| 合計 | 1,748 (1,677) | | | | |

計画相談

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 契約者数 | 23 | 25 | 27 | 30 | 36 | 38 | 39 | 43 | 45 | 45 | 45 | 54 |
| 計画作成 | 2 | 2 | 2 | 2 | 7 | 7 | 3 | 5 | 4 | 3 | 8 | 13 |
| モニタリング | 15 | 9 | 10 | 11 | 7 | 9 | 6 | 4 | 9 | 8 | 10 | 13 |

委託相談（一般相談）における平成27年度相談件数（延べ件数）は、1,700件を超えた。「自施設サービスの利用相談、援助」の件数が約3倍となったほか、「社会生活力を高める援助」の件数が増加した。その他、「権利擁護・成年後見に関する相談」も増加している。

また、金沢区地域自立支援協議会は、相談関係部会、啓発・防災部会、医療ケア・重心部会、精神部会の4つの部会で活動した。その他、児童部会の準備会をもった。医療ケア・重心部会では、数年をかけて課題を整理し、市自立支援協議会の課題検討部会に対し、医療ケアを必要とされる方々の日中通所先等の課題提出を行った。また、計画相談は、前年度8月より稼働し、今年度3月末時点までで54名の契約となっている。

※「自施設サービスの利用相談、援助」

法人地活の事業に限らず、他施設の日中活動や入所施設の短期入所の他、ヘルパー事業の紹介などの利用相談及び支援

※「社会生活力を高める援助」

健康、人間関係、経済的な不安や趣味や余暇活動に関する相談への支援など、本人のニーズを充足（ニーズの引き出し）する支援

(3) 横浜市地域生活支援事業

ショートステイ実績報告

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年度 | 増減 |
|---------|----|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-----|----|------|-----|-----|
| 計画的利用件数 | 49 | 58 | 52 | 45 | 51 | 50 | 56 | 50 | 54 | 45 | 51 | 44 | 605 | 577 | 28 |
| 緊急利用件数 | 3 | 2 | 3 | 2 | 5 | 4 | 5 | 4 | 4 | 1 | 6 | 2 | 41 | 26 | 15 |
| 合計件数 | 52 | 60 | 55 | 47 | 56 | 54 | 61 | 54 | 58 | 46 | 57 | 46 | 646 | 603 | 43 |
| 利用泊数 | 73 | 107 | 89 | 78 | 91 | 87 | 93 | 82 | 81 | 70 | 102 | 97 | 1050 | 839 | 211 |

一時ケア実績報告

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年度 | 増減 |
|---------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|--------|
| 計画的利用件数 | 137 | 144 | 151 | 172 | 193 | 140 | 147 | 125 | 136 | 116 | 140 | 159 | 1760 | 1599 | 161 |
| 緊急利用件数 | 21 | 20 | 18 | 22 | 18 | 27 | 29 | 27 | 41 | 21 | 25 | 27 | 296 | 216 | 80 |
| 合計件数 | 158 | 164 | 169 | 194 | 211 | 167 | 176 | 152 | 177 | 137 | 165 | 186 | 2056 | 1815 | 241 |
| 利用時間数 | 457 | 505 | 441 | 611.5 | 758 | 464 | 516 | 432 | 530 | 424 | 514 | 582 | 6,235 | 5,074 | 1160.5 |

おもちゃ文庫実績報告

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年度 | 増減 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-----|
| 子ども | 110 | 102 | 121 | 207 | 175 | 123 | 172 | 164 | 146 | 214 | 201 | 222 | 1,957 | 1,497 | 460 |
| 大人 | 84 | 83 | 91 | 164 | 125 | 102 | 128 | 111 | 114 | 152 | 144 | 162 | 1,460 | 1,211 | 249 |
| 合計 | 194 | 185 | 212 | 371 | 300 | 225 | 300 | 275 | 260 | 366 | 345 | 384 | 3,417 | 2,708 | 709 |

自立生活アシスタント事業

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年度 | 増減 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 登録人数 | 22 | 22 | 22 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 22 | 22 | 23 | 23 | 252 | 252 | 0 |
| 面接(来所) | 6 | 11 | 13 | 8 | 4 | 20 | 13 | 12 | 16 | 4 | 14 | 17 | 138 | 91 | 47 |
| 電話・メール等 | 116 | 116 | 120 | 124 | 114 | 113 | 123 | 101 | 106 | 111 | 100 | 124 | 1,368 | 721 | 647 |
| 訪問 | 51 | 53 | 72 | 64 | 53 | 44 | 60 | 67 | 67 | 61 | 52 | 57 | 701 | 271 | 430 |
| 同行 | 44 | 52 | 35 | 42 | 33 | 55 | 39 | 42 | 41 | 40 | 46 | 52 | 521 | 349 | 172 |
| その他 | 11 | 0 | 10 | 9 | 2 | 4 | 1 | 0 | 1 | 4 | 2 | 8 | 52 | 6 | 46 |

ショートステイ・一時ケア事業

一時ケアは、例年通り夏休み期間に実施しているプログラム（調理や水遊び）などの導入等により、児童の利用は安定している。件数・時間共に利用増となっているのは緊急ショートステイでの影響が大きい。

また、ショートステイは、年間を通して緊急利用が多く、相談事業と協働し積極的な受け入れを実施してきた為、前年度に比べ200泊以上の利用増となった。

① 余暇活動支援事業

余暇活動は、昨年度に引き続き、グループホーム入居の方などを対象とした調理クラブを実施。その他、参加者のアンケートやニーズをもとに館内での調理企画・外出企画を計画し、実施した。

② 自立生活アシスタント事業

登録者同士の交流と余暇活動の支援として、食事会・カラオケ・いちご狩り等の日帰り企画等を実施した。他区からの移管相談ケースの方（正式登録前）も、食事だけ参加とい

ったかたちをとり、スムーズな移管の方法を試行した。

また、仲良くなった登録者同士のみで休日に遊びにゆく企画を立て、自主的に余暇を過ごす支援を行うなど、今後も継続して広げていく。

(4) 地域交流事業

平成 27 年 9 月 12 日（土）にすみなすフェスタ「りんごの森感謝祭」を開催した。パン作り体験、スヌーズレン体験等、人気の体験活動に加え、プロのネイリストボランティアに協力を得て、ネイルアートのコーナーも新設し、大人からお子さんまで楽しんでいただくことができた。特にパン作り体験は毎年恒例の人気コーナーとして定着しており、朝から並ぶ方もあり、全体を通して、大変盛大なお祭りとなっている。平成 28 年度は、9 月 10 日(土)の開催予定となっている。

(5) 実習生・見学者 受入状況

実習生受け入れ状況

| | 希望者数 | 実習実施 | 受け入れ |
|-------------|------|------|------|
| 県立金沢養護学校 | 5 | 4 | 4 |
| 市立ろう特別支援学校 | 1 | 1 | 2 |
| 在宅（区などから紹介） | 2 | 2 | |

ろう特別支援学校の実習生は 2 年生

(6) 研修

内部研修

| 研修名 | 講師 | 参加者数 |
|--------|-----------------|------|
| 救命救急研修 | 金沢消防署 能見台出張所 所長 | 18人 |
| 摂食研修 | 鶴見大学歯学部 菅医師 | 21人 |
| 服薬研修 | 吉田看護師 | 33人 |

法人内部研修

| 研修名 | 参加者数 |
|------------------------------|------|
| メンタルヘルス研修 | 31人 |
| 人権研修 | 29人 |
| 階層別研修（管理職・課長補佐・主任、副主任・中堅・新任） | 26人 |

外部研修

| 研修名 | 参加者数 |
|-----------------------------|------|
| 医療的ケアの現状と課題、障害者と家族が望む支援 | 35人 |
| 精神保健福祉基礎研修、生活保護制度入門、食品表示法 | |
| 個人保護に係わる研修、強度行動障害基礎講座、OJT研修 | |
| 発達障害、摂食嚥下障害、てんかん、パーソナリティ障害 | |
| うつ病の正しい知識と対処方法、お金の支援等 28件 | |

4 その他

苦情受付

(1) 件数 0件（平成27年4月1日～平成28年3月18日現在）

(2) 内容 (件)

| 苦情の内容 | 26年度 | 27年度 |
|--------------------|------|------|
| ① 虐待・放置・脅迫・搾取に関する事 | 0 | 0 |
| ② サービス・支援内容に関する事 | 1 | 0 |
| ③ 個人の嗜好・選択に関する事 | 0 | 0 |
| ④ 利用者の所持金等に関する事 | 0 | 0 |
| ⑤ その他 | 0 | 0 |
| 計 | 1 | 0 |

報告事例（1件）

(内容)

自立生活アシスタント（以下、自アシ）の関わるケースAさんの親族（妹）より「職員に対する苦情があるのだが」との電話がある。

自アシがAさんに対し、妹とは関わるな、親族とは付き合うなと言っているが、なぜなのかとの主訴。兄は大人しいから自アシには何も言えない。本当に言いたいことが言えない。親族とは付き合っ行ってきたいはずだ。その他、今度兄が糖尿病のため入院することだが、私（妹）は、全く聞いていなかった。勝手に自アシが入院を決めてしまった。どういつもりで入院をさせるのか？医師からは入院するほどではないと聞いた。また、Aさんが亡くなっても無縁仏のお墓があるからと自アシに言われた。母の入っているお墓があるのに、そういったことを言う権限が自アシにあるのか？等の訴えがあった。

(対応)

担当職員（自アシ）に確認したところ、妹とは、ほとんど話をしたことがなく、訴えのような事実は全くない事が判明した。

以前より、妹がAさんの金銭を無心することがあることから、区の生活支援課CWは、妹に対しAさんへの金銭等の無心に対して厳しい指導を行っている。また妹は、あんしんセンター（区社協）や市社協に対しても、くり返し、今回と同様の苦情を訴えられているが、他の機関から満足のいく回答が得られないため、りんごの森へ矛先を変更したと推測される。今回の苦情については、苦情を訴えられる場所がなく、りんごの森に訴えてこられたと考えられる。

妹をはじめ、背景にいる親族の金銭無心に対して、関係機関がチームで連携し、本人を支援しているケースである。今後も、関係機関間において、情報共有・情報交換等を行い、連携した対応に努めて行く。

平成27年度釜利谷地域ケアプラザ事業報告

概説

平成28年度から開始される第3期地域福祉保健計画の策定に向け、区域計画、地区別計画について地域支援チームの一員として地域、区社協、区と協働して取り組んだ。

通所介護事業では、4月より介護報酬について報酬・基準について見直しがされ、基本報酬が引き下げられたため減少率を補うべく利用者増加に向けてケアプラザ全体で取り組み利用者数は前年度を上回ることができた。居宅介護支援事業では、基本報酬は引き上げになったが、質の高いケアマネジメントが求められており、一層専門職の質を高めた。

平成26年度末に釜利谷地域ケアプラザの指定管理者に応募し平成28年4月から5年間引き続き指定管理者として指定された。一層地域に根を張り、地域福祉の拠点をさらに充実し住み慣れた地域で、その人らしく自立した生活を続けられる地域づくりに取り組んでいく。

平成27年11月に横浜市監査課により指導監査を受け、概ね適正な運営が行われていると認められた。

1 重点項目

(1) 地域活動・交流事業

地域の誰もが参加できるように、多様な事業を展開し、出会いやコーディネート、サービス提供の場を増やした。また、障がいのある方が、希望する事業に参加できるような環境づくりにも努めた。

ボランティア活動を“ボランティア”と意識せず、行動が結果的に社会貢献につながるようなコーディネートを目指した。

(2) 地域包括支援センター事業

高齢者虐待防止、早期発見に関する取組として、ケアマネジャーと民生委員向けに虐待防止研修を開催し正しい理解、孤立しない地域づくりに取り組んだ。また、認知症に対する正しい理解、より身近に感じ早期発見ができるように認知症サポーター養成講座を町内会館と西金沢地域ケアプラザと共催で関東学院大学文庫キャンパスにて学生と地域に向けて開催した。

地域の担い手の育成、地域と連携した介護予防、認知症予防の講座を開催し地域活性化に取り組み、各町内会では行事の中で講座の内容を実施し取り組んでいる。

(3) デイサービス事業（通所介護事業・介護予防通所介護事業）

ご利用者の生活の質の向上、「笑顔になれるデイサービス」に向けプログラムを構成し、各居宅支援事業所等との信頼関係を築き、ケアプラザ全体で取り組み利用者数が前年度を上回ることができた。

(4) 居宅介護支援事業

住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けることができるよう、地域包括支援センターや地域活動交流、行政、病院等と密に連携を取り多職種で在宅生活を支えるチーム作りを行い支援した。

毎週の会議や内部研修、各ケアマネジャーのケースの共有や様々な勉強会・研修に参加し専門職としての質を高めた。

2 実施事業

(1) 地域活動・交流事業

関係機関及びケアプラザ内各部門との有機的な連携をもって事業展開に努めるとともに、協働等を通じて地域との関係をより深めながら事業を実施した。また、実施にあたっては、地域住民同士が、一人の人を支える地域づくりを目指し、地域で誰もが気軽に「困っている」「助けて欲しい」と言えるような環境づくりを心掛けた。

① 事業内容

ア 地域福祉保健計画

第2期計画最終年の総仕上げとして、また、第3期計画に向けて、地域に最も近い公的機関であるケアプラザの窓口として、地域との関わりや関係機関とのネットワークの推進・構築に取り組んだ。

イ 自主事業

地域の誰もが参加できるよう、多様な事業を展開し、出会いやコーディネート、サービス提供の場を増やした。また、障がいのある方が、希望する事業に参加できるような環境づくりにも努めた。

ウ ボランティア育成

ボランティア活動を“ボランティア”と意識せず、行動が結果的に社会貢献につながるようなコーディネートを目指した。

エ 福祉教育・職業体験の受け入れ

地域ケアプラザの特性を活かした福祉体験、職業体験の場としての充実を図るとともに、個別支援級の受け入れも行った。

オ 「地域支えあい連絡会」

区役所の様々な部門の職員の方をゲストとして招き、公的機関と地域住民それぞれの立場から現況を聞き合うことで、より活きた情報交換の場の提供と顔の見える関係づくりを行った。また、関東学院大学とエリア内の有料老人ホームの職員をゲストとして招き、それぞれの現況や役割を知るとともに、学生や施設入所者も地域の住民であるということの再確認も行った。

カ 情報提供

広報紙「やまなみ」やホームページ、区の広報等を通じて、ケアプラザ事業についての周知と福祉保健や健康に関する情報提供を行った。また、横浜市が提供している人口統計等の資料を基に、地域に合わせた資料を独自に作成し、データから地域を読み取ることの周知も行った。

② 具体的な事業内容 別紙の通り

(2) 地域包括支援センター事業

社会福祉士、主任ケアマネジャー、地域相談の経験のある看護師の専門職が連携し、総合相談事業、権利擁護事業、包括的継続的ケアマネジメント事業、介護予防ケアマネジメント事業、介護予防支援事業を実施した

① 総合相談支援事業

ア 総合相談件数

| | 電話・その他 | 来所 | 訪問 | 合計 |
|------|--------|-----|-----|-------|
| 27年度 | 941 | 251 | 121 | 1,313 |
| 26年度 | 937 | 315 | 167 | 1,419 |
| 増減 | 4 | △64 | △46 | △106 |

イ 総合相談内容の内訳（電話・来所の主な内容）内訳

| | 介護保険 | 介護予防 | 行政サービス | インフォーマルサービス | 認知症（BPSD） | 認知症（医療） | 介護（認知症以外） | 医療（認知症以外） | 施設入所・入院 | 日常生活課題 | 苦情 | 成年後見制度・消費者保護 | 虐待 | その他 | 合計 |
|--------|------|------|--------|-------------|-----------|---------|-----------|-----------|---------|--------|----|--------------|----|-----|------|
| 27年度件数 | 1186 | 46 | 25 | 58 | 101 | 74 | 27 | 120 | 137 | 197 | 8 | 43 | 2 | 188 | 2212 |
| 26年度件数 | 1313 | 58 | 35 | 56 | 75 | 56 | 74 | 107 | 169 | 271 | 0 | 38 | 15 | 304 | 2571 |

② 権利擁護事業

ア 権利擁護に関する相談

45件(延べ件数)

内容 ・ 成年後見制度に関する相談

（制度説明、申立書の書き方支援、困難ケースについてカンファレンスを開催）

・ 消費者被害に関する相談（詐欺電話、訪問買い取りなど）

・ 高齢者虐待相談対応（本人、親族、居宅介護支援事業所のケアマネジャー、通所介護施設からの報告に基づき、相談や会議の開催）

イ 権利擁護事業等に関する業務

・ 区主催の成年後見サポートネットワーク事業に参加（年4回）今年度は事務局として月一回の打ち合わせに出席。

・ 区主催の高齢者虐待防止連絡会に参加（年1回）

・ 成年後見制度、高齢者虐待防止、消費者被害防止のチラシ・リーフレットを配布、ケアプラザ内に掲示し呼びかけた。

・ 各出張講座、フェスタ等で成年後見制度の説明・独自で作成したチラシの配布を行った。

- ・広報誌やまなみにて消費者被害防止、高齢者虐待の正しい理解について周知を行った。
- 成年後見制度について…「終活セミナー&個別相談会」で講義・個別相談会開催、「私の『終活』講座（全2回）」で講演会開催、「新任ケアマネジャー研修」で講義（他包括共催）。
- 消費者被害防止について（地域活動交流共催）…「くらしの教室」で講演会開催、「あんしんして暮らすための10分講座」でミニ講座実施、「森の小道やまなみ」でミニ講座実施。
- 高齢者虐待防止について…民生委員ケアマネジャー向けの勉強会を開催。
- 認知症サポーター養成講座（地域活動交流共催）…町内会館で地域住民向けに一回開催、関東学院大学で生徒・地域住民向けに一回開催（関東学院大学・西金沢地域ケアプラザ共催）。
- 介護者のつどい…年6回実施（「水彩画教室」「夏バテ予防の料理教室」「施設見学会（花珠の家かなざわ）」「介護技術を学ぼう～片マヒの方の介護の実際～」「カラーセラピー」「笑い与健康」）

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ア 担当エリア内のケアマネジャーからの相談件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 27年度 | 9 | 12 | 14 | 18 | 17 | 9 | 6 | 4 | 3 | 9 | 13 | 18 | 132 |
| 26年度 | 9 | 2 | 2 | 14 | 10 | 4 | 13 | 10 | 13 | 8 | 18 | 14 | 117 |
| 増減 | 0 | 10 | 12 | 4 | 7 | 5 | △7 | △6 | △10 | 1 | △5 | 4 | 15 |

イ 事業等取り組みについて

- ・金沢区薬剤師会／包括主任ケアマネ部会共催で事例を通じ意見交換会を行った。
- ・金沢区医師会／薬剤師会／包括主任ケアマネ部会と三者共催で多職種による「受診に繋がらない認知症の方へのアプローチ」の事例検討会を行った。
- ・金沢区地域包括連絡会／近隣区病院関係者／医療連携室／金沢ケアマネ倶楽部と「認知症の対応について」の意見交換会を行った。
- ・「包括レベル地域ケア会議」でエリア内外のケアマネジャー・民生委員・地域福祉従事者を対象に「地域ケア会議」勉強会を開催した。
- ・民生委員とケアマネジャーの事例検討・情報交換会を開催した。
- ・西金沢／釜利谷地域ケアプラザ共催で民生委員とケアマネジャー対象「地域で見守り」の意見交換会を開催した。
- ・金沢区内に就職した新任ケアマネジャー対象に区主任ケアマネ部会として3回（9・11・2）研修を実施した。
- ・金沢区南部「5地域包括支援センター」の主任ケアマネ共催で事例検討会を1回開催した。
- ・司法書士会へ講師を依頼しケアマネ／民生委員対象に「生活保護の基礎知識・高齢者虐待の気づきの視点」の研修を行った。

- ・エリア内の地域密着型サービス事業所(5施設)の2か月に1回開催される運営推進会議に出席した。

④ 介護予防ケアマネジメント事業

ア 介護予防一般高齢者施策(65歳以上のすべての高齢者)への取り組み

- ・出張講座やイベント等で、参加者に対し「基本チェックリスト」配布・実施、介護予防に関するミニ講座を実施。
- ・認知症予防脳活性化リハビリゲーム(スリーA)講座を「パークタウン自治会館」「高舟台自治会」「赤井町内会」で実施した。
- ・ロコモティブシンドローム予防、認知症予防として効果のある「スクエアステップ」のリーダー養成講座を実施し、町内会(老人会)や自主グループで継続して行えるよう支援した。
- ・介護予防(音楽療法、体操、フットケア、転倒予防法、認知症予防等)の要素を入れた「ほっとタイム」を1回/2ヶ月のペースで継続して行った。
- ・エリア内に立ち上がった「白山道さわやか元気づくりステーション」「こづみカフェ」を区役所とともに支援した。

⑤ 介護予防支援事業

ア 包括支援センター担当件数(給付管理票作成件数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 27年度 | 46 | 43 | 45 | 46 | 36 | 37 | 40 | 44 | 45 | 47 | 45 | 46 | 520 |
| 26年度 | 31 | 33 | 35 | 38 | 39 | 40 | 41 | 44 | 45 | 44 | 43 | 44 | 477 |
| 増減 | 15 | 10 | 10 | 8 | △3 | △3 | △1 | 0 | 0 | 3 | 2 | 2 | 43 |

※ 包括支援センター担当件数とは、包括支援センターで作成した件数

イ 委託件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 27年度 | 122 | 120 | 121 | 122 | 124 | 133 | 138 | 133 | 130 | 125 | 123 | 125 | 1516 |
| 26年度 | 129 | 130 | 133 | 131 | 130 | 126 | 125 | 119 | 120 | 119 | 120 | 119 | 1501 |
| 増減 | △7 | △10 | △12 | △9 | △6 | 7 | 13 | 14 | 10 | 6 | 3 | 6 | 15 |

※ 委託件数とは、包括支援センター以外の居宅介護支援事業所に委託契約を行い、介護支援専門員が作成した件数。

(3) デイサービス事業(通所介護事業・介護予防通所介護事業)

居宅サービス計画を基に、利用者個々に適した通所介護計画・介護予防通所介護計画を作成し、サービスを提供した。『笑顔になれるデイサービス』を合言葉に利用者皆さんの笑顔を引き出せるプログラムを構成し、QOL(生活の質)の向上に努めた。

各居宅支援事業所へ毎月書面での連絡の他、利用者の体調不良での欠席時や利用者の状況等を随時連絡し信頼関係を築き新規利用者の紹介にも繋がった。

ご家族の相談にも連絡帳のみでなく、電話連絡、送迎時等で直接お話を伺い、身体的精神的負担軽減に努めた。

① 見学

利用前の見学を受け入れ、ご利用者ご本人が不安なく利用していけるように努めた。

② 曜日毎に特色のあるプログラム作り

曜日ごとに従来のレクリエーションの他に、教室・クラブ活動を導入し、利用者個々の充実した活動。

月曜日：体操教室、絵手紙教室

火曜日：手作りおやつサークル、押絵教室

水曜日：カラオケサークル、制作サークル

木曜日：音楽教室、絵手紙教室

金曜日：体操教室、音楽教室、習字サークル

土曜日：カラオケサークル、制作サークル

日曜日：食事イベント（1回/月）

毎日：生活機能向上活動（洗濯物たたみ、茶碗洗い、テーブル拭きなど）ウォーキング

③ 季節ごとの行事

近隣公園への花見・帰り送迎での花見ドライブ・春の運動会・流しそうめん・敬老会・秋祭り・クリスマス会を実施。

秋祭りでは家族や担当ケアマネジャーを招待しご本人のデイサービスでの様子を見ていただき、家族同士の交流を通して介護者同士の情報交換の場ともなった。

年末最終日は「利用者大忘年会」では、そば打ち体験、職員の余興（演奏・合唱）利用者紅白歌合戦、大抽選会（景品）等1日を通してプログラムを実施し1年の締めくくりをご利用者、職員と行った。

④ イベント

月2回のお楽しみランチ・選択メニューやバイキング料理・鍋・寿司パーティー等を実施し、満足いただける食事を提供した。

横浜の開港記念日には、横浜にちなんだ崎陽軒の焼売弁当、有明のハーバー、敬老の日には釜利谷の地元の和菓子屋『さくら』の和菓子を提供し、横浜の歴史をご利用者に発表いただき、横浜について語り合う機会となった。

⑤ 訓練

火災や地震などの震災に備え、防災訓練を実施した。

⑥ 交流・実習受け入れ

地域施設や小中学校生・保育園園児と利用者がレクリエーションを一緒に行い交流を図った。中学生の体験学習や金沢区内2か所の大学の看護学生の実習も受け入れた。

⑦ 開館日数 359日

⑧ その他

入所されたり、ご逝去された利用者のご家族から『スタッフが温かく、本人の事を常に

考えている姿勢を感じ、本人も生き生きと暮らせた。』との言葉をいただく事が多くあり、今後も質の高いサービスを職員全員で団結して提供していく。

⑨ 通所介護事業・介護度別利用状況（H27.4月～H28.3月） 単位：人

| | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 総数 | 実施日数 | 平均利用者数 /日 | 最高利用者数 /日 |
|-----|-------|-------|-------|------|------|-------|------|--------------|--------------|
| 4月 | 228 | 271 | 118 | 25 | 64 | 706 | 30 | 23.5 | 28 |
| 5月 | 267 | 262 | 127 | 9 | 64 | 729 | 31 | 23.5 | 30 |
| 6月 | 289 | 242 | 122 | 9 | 53 | 715 | 29 | 24.7 | 34 |
| 7月 | 301 | 304 | 104 | 10 | 66 | 785 | 31 | 25.3 | 32 |
| 8月 | 323 | 298 | 115 | 13 | 59 | 808 | 31 | 26.1 | 35 |
| 9月 | 346 | 288 | 106 | 14 | 61 | 815 | 30 | 27.2 | 33 |
| 10月 | 375 | 296 | 107 | 15 | 56 | 849 | 31 | 27.4 | 37 |
| 11月 | 375 | 284 | 104 | 15 | 77 | 855 | 30 | 28.5 | 36 |
| 12月 | 369 | 264 | 75 | 28 | 80 | 816 | 28 | 29.1 | 35 |
| 1月 | 335 | 261 | 83 | 32 | 76 | 787 | 28 | 28.1 | 35 |
| 2月 | 337 | 257 | 90 | 33 | 81 | 798 | 29 | 27.5 | 35 |
| 3月 | 375 | 260 | 95 | 34 | 88 | 852 | 31 | 27.5 | 34 |
| 合計 | 3,920 | 3,287 | 1,246 | 237 | 825 | 9,515 | 359 | 26.5 | |
| 前年 | 2,904 | 3,300 | 941 | 770 | 676 | 8,591 | 358 | 24.0 | |
| 増△減 | 1,016 | △13 | 305 | △533 | 149 | 924 | 1 | 2.5 | |

⑩ 通所介護事業・介護度別登録者数（H27.4月～H28.3月延べ登録者数） 単位：人

| 介護度 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 総数 |
|------|------|------|------|------|------|-------|
| 27年度 | 433 | 378 | 135 | 35 | 84 | 1,065 |
| 26年度 | 309 | 358 | 94 | 84 | 65 | 910 |
| 増△減 | 124 | 20 | 41 | △49 | 19 | 155 |

⑪介護予防通所介護事業・要支援別利用状況（(H27.4月～H28.3月) 単位：人

| | 要支援1 | 要支援2 | 総数 | 実日数 | 平均利用者数/日 | 最高利用者数/日 |
|-----|------|-------|-------|-----|----------|----------|
| 4月 | 28 | 78 | 106 | 30 | 3.5 | 7 |
| 5月 | 23 | 78 | 101 | 31 | 3.3 | 7 |
| 6月 | 20 | 62 | 82 | 29 | 2.8 | 5 |
| 7月 | 26 | 58 | 84 | 31 | 2.7 | 5 |
| 8月 | 26 | 60 | 86 | 31 | 2.8 | 4 |
| 9月 | 33 | 58 | 91 | 30 | 3 | 4 |
| 10月 | 32 | 56 | 88 | 31 | 2.8 | 5 |
| 11月 | 32 | 56 | 88 | 30 | 2.9 | 6 |
| 12月 | 27 | 58 | 85 | 28 | 3.0 | 6 |
| 1月 | 25 | 61 | 86 | 28 | 3.1 | 6 |
| 2月 | 23 | 54 | 77 | 29 | 2.7 | 5 |
| 3月 | 24 | 62 | 86 | 31 | 2.8 | 5 |
| 合計 | 319 | 741 | 1,060 | 359 | 3 | |
| 前年 | 346 | 1,343 | 1,689 | 358 | 4.7 | |
| 増△減 | △27 | △602 | △629 | 1 | △1.7 | |

⑫介護予防通所介護事業・要支援別延べ登録者数（H27.4月～H28.3月） 単位：人

| | 要支援1 | 要支援2 | 合計 |
|------|------|------|-----|
| 27年度 | 82 | 99 | 181 |
| 26年度 | 88 | 181 | 269 |
| 増△減 | △6 | △82 | △88 |

(4) 居宅介護支援事業

利用者の心身の状況と、利用者を取り巻く人的・物的環境を総合的にとらえ、住み慣れた地域で自立した生活が送れるように、各サービス事業所をはじめとし地域包括支援センター、地域活動交流、行政、病院等と密に連携をとり、多職種で在宅生活を支えるチーム作りを行い支援した。

介護ケアプラン作成数（要介護1～要介護5判定の方）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 27年度 | 115 | 117 | 117 | 117 | 119 | 120 | 119 | 120 | 119 | 116 | 118 | 125 | 1422 |
| 26年度 | 111 | 104 | 104 | 105 | 107 | 108 | 111 | 113 | 109 | 109 | 110 | 111 | 1302 |
| 増減 | 4 | 13 | 13 | 12 | 12 | 12 | 8 | 7 | 10 | 7 | 8 | 14 | 120 |

介護予防ケアプラン作成数（要支援1～要支援2判定の方）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 27年度 | 39 | 40 | 40 | 42 | 43 | 41 | 43 | 37 | 37 | 37 | 36 | 34 | 469 |
| 26年度 | 48 | 48 | 47 | 45 | 46 | 44 | 45 | 42 | 42 | 41 | 40 | 39 | 527 |
| 増減 | △9 | △8 | △7 | △3 | △3 | △3 | △2 | △5 | △5 | △4 | △4 | △5 | △58 |

※ 介護予防ケアプランは介護ケアプラン0.5件分

※ 常勤換算でケアマネジャー一人当たりの件数限度は、介護・予防合わせて39件

※ 現在の常勤換算では一か月あたり144件が上限。

※ 特定事業所加算Ⅲ（1件あたり3,336円）は介護ケアプランのみ算定できる。

金沢区等委託契約による介護認定調査件数（区との契約数は年間240件）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 27年度 | 24 | 17 | 18 | 18 | 20 | 16 | 17 | 18 | 12 | 15 | 16 | 19 | 210 |
| 26年度 | 12 | 16 | 15 | 11 | 18 | 10 | 20 | 12 | 19 | 23 | 9 | 17 | 182 |
| 増減 | 12 | 1 | 3 | 7 | 2 | 6 | △3 | 6 | △7 | △8 | 7 | 2 | 28 |

3 職員研修

法人内部研修・ケアプラザ内部研修

| 研修名 | 参加延べ人数 |
|--------------------|--------|
| 人権研修 | 58名 |
| メンタルヘルス研修 | 41名 |
| 心肺蘇生法、AED使用訓練 | 29名 |
| リスクマネジメント研修（送迎時） | 18名 |
| 介護技術研修（排泄介助） | 22名 |
| 「障がいについて学ぶ」研修委員会主催 | 32名 |
| 階層別研修 | 11名 |

外部研修

| 研修名 | 参加延べ人数 |
|---------|--------|
| 各職種専門研修 | 66名 |

市・区・関係機関が提供する外部研修や研修専門機関が提供する外部研修へ各専門職を派遣した。

4 苦情

(1) 苦情受付件数 0件（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

5 平成 27 年度事業活動収支決算概要

①通所介護事業活動収支総括表

(単位円)

| | 27 年度 | 26 年度 | 増減 | 備考 |
|------------------------|-------------|-------------|------------|-------------------------|
| 介護保険収入 | 95,584,550 | 93,562,406 | 2,022,144 | 利用者数増加、要介護者の割り合い増による収入増 |
| その他の収入 | 7,867,664 | 7,446,043 | 349,621 | |
| サービス活動収益計(1) | 103,452,214 | 101,008,449 | 2,371,765 | |
| 人件費 | 70,334,649 | 66,909,035 | 3,425,614 | 職員の病欠他の補充等 |
| 事業費 | 18,193,934 | 18,075,445 | 118,489 | |
| 事務費 | 10,329,060 | 10,568,532 | △239,472 | |
| 減価償却費 | 1,118,290 | 985,002 | 133,288 | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △338,430 | △374,080 | △35,650 | |
| サービス活動費用計(2) | 99,637,503 | 96,163,934 | 3,473,569 | |
| サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | 3,814,711 | 4,844,515 | △1,029,804 | |
| サービス活動外収益計(4) | 750,718 | 717,427 | 33,291 | |
| サービス活動外費用計(5) | 613,100 | 648,100 | △35,000 | |
| サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | 137,618 | 69,327 | 68,291 | |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | 3,952,329 | 4,913,842 | △961,513 | |

②居宅介護支援事業活動収支総括表

(単位円)

| | 27 年度 | 26 年度 | 増減 | 備考 |
|------------------------|------------|------------|-----------|--------------------------|
| 介護保険収入 | 24,702,533 | 21,827,965 | 2,874,568 | 特定事業所加算算定とプラン作成件数増による収入増 |
| その他の収入 | 1,020,600 | 893,376 | 127,224 | |
| サービス活動収益計(1) | 25,723,133 | 22,721,341 | 3,001,792 | |
| 人件費 | 18,532,764 | 17,990,908 | 541,856 | |
| 事業費 | 7,350 | 55,523 | △48,173 | |
| 事務費 | 1,104,250 | 813,195 | 291,055 | |
| 減価償却費 | 446,249 | 446,249 | 0 | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | 0 | 0 | 0 | |
| サービス活動費用計(2) | 20,090,613 | 19,305,875 | 784,738 | |
| サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | 5,632,520 | 3,415,466 | 2,217,054 | |
| サービス活動外収益計(4) | 0 | 0 | 0 | |
| サービス活動外費用計(5) | 0 | 0 | 0 | |
| サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | 0 | 0 | 0 | |
| 経常増減差額(3)+(6) | 5,632,520 | 3,415,466 | 2,217,054 | |

ア) 支えあい連絡会の開催

| | 開催数 | 参加人数 | テーマ・内容詳細等 |
|-------------|-----|------|----------------------------|
| 平成27年度(連絡会) | 4 | 77 | 情報交換 |
| (講演会) | 1 | 17 | 講演会「口腔ケアについて～予防歯科からの健康支援～」 |
| 平成26年度(連絡会) | 4 | 84 | 情報交換 |
| (講演会) | 1 | 19 | 講演会「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」 |

イ) 広報紙及びチラシの発行

| | 広報紙 | | チラシ | | 配布先 |
|--------|-----|-------|-----|--------|--------------|
| 平成27年度 | 4回 | 6000枚 | 7回 | 10500枚 | 各町内会・関連機関に配布 |
| 平成26年度 | 4回 | 6000枚 | 7回 | 10500枚 | |

ウ) 貸館利用状況

| | 件数 (単位:件) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | H27 合計 | H26 合計 | 前 年 比 |
|-----|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----------|-----------|-------------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 多目的 | 午 前 | 21 | 20 | 23 | 14 | 14 | 19 | 22 | 22 | 18 | 15 | 19 | 20 | 662 | 657 | 5 |
| | 午後1 | 20 | 18 | 22 | 20 | 17 | 18 | 22 | 22 | 18 | 15 | 21 | 19 | | | |
| | 午後2 | 14 | 12 | 14 | 18 | 12 | 15 | 15 | 16 | 12 | 10 | 14 | 17 | | | |
| | 夜 間 | 1 | 2 | 4 | 5 | 4 | 3 | 5 | 2 | 1 | 2 | 2 | 3 | | | |
| 調理室 | 午 前 | 17 | 15 | 19 | 14 | 14 | 15 | 14 | 17 | 15 | 15 | 15 | 18 | 518 | 525 | -7 |
| | 午後1 | 19 | 17 | 20 | 16 | 15 | 18 | 17 | 18 | 17 | 16 | 17 | 21 | | | |
| | 午後2 | 8 | 8 | 7 | 8 | 6 | 7 | 7 | 12 | 8 | 6 | 7 | 11 | | | |
| | 夜 間 | 1 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | 4 | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 | | | |
| ボラ | 午 前 | 14 | 10 | 15 | 12 | 9 | 14 | 16 | 12 | 9 | 15 | 14 | 10 | 467 | 431 | 36 |
| | 午後1 | 14 | 14 | 16 | 13 | 13 | 14 | 17 | 14 | 13 | 14 | 16 | 16 | | | |
| | 午後2 | 13 | 11 | 12 | 10 | 10 | 8 | 14 | 12 | 8 | 9 | 9 | 11 | | | |
| | 夜 間 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 0 | 3 | 3 | 0 | 1 | 0 | 1 | | | |
| 合 計 | 143 | 129 | 157 | 135 | 117 | 132 | 156 | 153 | 120 | 120 | 136 | 149 | 1647 | 1613 | 34 | |

| | 稼働率 (単位:%) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | H27 平均 | H26 平均 | 前 年 比 |
|-----|---------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----------|-----------|-------------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 多目的 | 午 前 | 72 | 67 | 79 | 47 | 47 | 66 | 73 | 76 | 67 | 56 | 68 | 67 | 65 | 66 | -1 |
| | 午後1 | 69 | 60 | 76 | 67 | 57 | 62 | 73 | 76 | 67 | 56 | 75 | 63 | | | |
| | 午後2 | 48 | 40 | 48 | 60 | 40 | 52 | 50 | 55 | 44 | 37 | 50 | 57 | | | |
| | 夜 間 | 4 | 9 | 16 | 20 | 16 | 14 | 20 | 9 | 5 | 9 | 9 | 12 | | | |
| 調理室 | 午 前 | 59 | 50 | 66 | 47 | 47 | 52 | 47 | 59 | 56 | 56 | 54 | 60 | 54 | 58 | -4 |
| | 午後1 | 66 | 57 | 69 | 53 | 50 | 62 | 57 | 62 | 63 | 59 | 61 | 70 | | | |
| | 午後2 | 28 | 27 | 24 | 27 | 20 | 24 | 23 | 41 | 30 | 22 | 25 | 37 | | | |
| | 夜 間 | 4 | 4 | 12 | 12 | 4 | 5 | 16 | 14 | 5 | 9 | 9 | 8 | | | |
| ボラ | 午 前 | 48 | 33 | 52 | 40 | 30 | 48 | 53 | 41 | 33 | 56 | 50 | 33 | 43 | 38 | 5 |
| | 午後1 | 48 | 47 | 55 | 43 | 43 | 48 | 57 | 48 | 48 | 52 | 57 | 53 | | | |
| | 午後2 | 45 | 37 | 41 | 33 | 33 | 28 | 47 | 41 | 30 | 33 | 32 | 37 | | | |
| | 夜 間 | 4 | 4 | 8 | 8 | 8 | 0 | 12 | 14 | 0 | 5 | 0 | 4 | | | |

※ 多目的:多目的ホール ボラ:ボランティアルーム

| 利用人数 (単位:人) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | H27 合計 | H26 合計 | 前 年 比 |
|----------------|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----------|-----------|-------------|
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 946 | 917 | 1701 | 836 | 741 | 822 | 1258 | 954 | 755 | 766 | 1004 | 903 | 11603 | 11001 | 602 |

自主事業等実施状況

| | | | 開催数 | 延参加者数 | 主 な 内 容 |
|---|-------------------------------|-----|-----|-----------------------|-------------------------------------|
| 地 域 活 動 交 流 | 高齢者 | H27 | 14 | 313 | 転倒予防体操教室、コンサート |
| | | H26 | 24 | 437 | 転倒予防体操教室、落語、フォークダンス |
| | | 前年比 | -10 | -124 | |
| | 学童 | H27 | 0 | 0 | |
| | | H26 | 2 | 19 | 料理教室、フォトフレーム作り |
| | | 前年比 | -2 | -19 | |
| | 子ども・養育者 | H27 | 81 | 2314 | 講演会、おはなし会、親子体操、ムーブメント、リミック、ハピーマッサージ |
| | | H26 | 87 | 2134 | 講演会、栄養講座、おはなし会、親子体操、父親向け教室、ムーブメント |
| | | 前年比 | -6 | 180 | |
| | 障がい児者 (ボランティア・ 支援者育成含む) | H27 | 37 | 334 | 講座、ボランティア活動、サマフルド、料理教室、英語と異文化体験 |
| | | H26 | 30 | 248 | 講座、ボランティア活動、職業体験、サマフルド、料理教室 |
| | | 前年比 | 7 | 86 | |
| | 多世代交流 | H27 | 5 | 104 | ブラレール広場 |
| | | H26 | 5 | 162 | ブラレール広場 |
| | | 前年比 | 0 | -58 | |
| 健康作り (外国人支援含む) | H27 | 28 | 698 | ヨガ教室、体操教室、栄養講座 | |
| | H26 | 31 | 588 | ヨガ教室、体操教室、栄養講座 | |
| | 前年比 | -3 | 110 | | |
| 地域交流 | H27 | 54 | 765 | 童謡唱歌、ゴスペル、英会話 | |
| | H26 | 13 | 313 | コンサート・茶話会、ゴスペル、輪飾り作り | |
| | 前年比 | 41 | 452 | | |
| 地 域 活 動 交 流 ・ 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー と の 共 催 | 会食サロン | H27 | 2 | 110 | 食事会・サロン |
| | | H26 | 2 | 157 | 食事会・サロン |
| | | 前年比 | 0 | -47 | |
| | 中高年 | H27 | 6 | 62 | 手芸サロン（軽食付き） |
| | | H26 | 6 | 53 | 手芸サロン（軽食付き） |
| | | 前年比 | 0 | 9 | |
| | 福祉保健等 (講座、講演会) | H27 | 18 | 335 | 心筋梗塞、口腔ケア、悪質商法、認知症対応-タ-養成講座 |
| | | H26 | 6 | 98 | 糖尿病、腰痛膝痛、詐欺・悪質商法、認知症対応-タ-養成講座 |
| | | 前年比 | 12 | 237 | |
| | 福祉教育 職業体験 | H27 | 19 | | 釜利谷南小、釜利谷中、並木中、富岡中、かのかん保育園、横浜市大 |
| | | H26 | 16 | | 釜利谷南小、釜利谷中、並木中、富岡中、かのかん保育園、横浜市大 |
| | | 前年比 | 3 | | |
| その他 | | | | すみなすフェスタ、車椅子貸し出し、出張講座 | |

平成27年度 柳町地域ケアプラザ事業報告

概説

地域福祉保健計画を推進していく為、支援チームの一員として行政や地域の方々と共に、様々な課題を把握し解決に向けた取り組みや住民の活動が継続・展開され必要な情報や支援を必要としている人に確実に届けられるよう、人と人とのつながりや顔の見える関係づくりを継続し、誰もが安心して暮らせる町づくりを支援した。

また、多世代交流の場（ヨコハマ市民まち普請事業）となる地域の拠点づくりや、それに伴う人材マップ作成への協力も積極的に行いながら、ケアプラザとしての協力内容についての確認も行った。ケアプラザ内行事での地域の学生ボランティアを受け入れたことから、地域のお祭りの協力へと繋げ、地域と若い世代との様々な部分での連携の懸け橋となれるよう支援した。

1 重点項目

(1) 地域活動・交流事業

地域のニーズに合った事業内容を実施し参加者増に繋がった。また、特にボランティア育成を重点的に行い内部での活動やグループの立ち上げに繋がった。地域包括支援センターと共催で認知症サポーター養成講座を近隣の学校や老人会等で実施し認知症の周知活動に繋がった。

(2) 地域包括支援センター事業

地域ケア会議を年4回実施したことにより、課題に対し地域や様々な関係機関からの意見等知ることが出来、今後の支援に繋げることが出来た。また、権利擁護の部分では消費者被害問題や成年後見制度に関する研修を行い地域に周知することが出来た。

介護予防事業では、積極的に地域に出向き講座を実施できたことにより、地域住民と関わる機会が増え様々な情報等知る機会となった。

(3) 居宅介護支援事業

職員体制の充実を図りながら資格取得のための研修に参加し次年度からの加算に繋がった。また、他部門との会議を継続して行う事で情報の共有とお互いのスキルアップとなった。

(4) デイサービス事業

利用者のニーズに合った活動プログラムとし内容の充実を図ったことにより、利用者を介して登録者増につながった。また、介護技術に関する研修等を行い、送迎を含めた事故防止に繋がった。

認知症通所介護事業では、在宅での生活を安心して過ごして頂けるよう、利用者に寄り添いその方の個性を尊重しながら専門職としての対応を行った。また、日々の様子や課題に関しては、家族・担当ケアマネジャーと情報の共有を行いサービスの継続へと繋がった。職員研修では「かかわりを多く持つことによる精神的・身体的な安定」の大切さを学んだ。27年度の目標としていた「心からの笑顔」もたくさん見ることが出来た。

通所全体として、サービス提供体制加算の算定を行った。

2 実施事業

(1) 地域活動・交流事業

子育て支援事業「子育てフリースペース」の開催日を第四金曜日に変更し参加者増に繋がった。ボランティア育成として「そば打ちボランティア養成講座」「お菓子作りボランティア養成講座」を開催。講座終了後は既存団体やボランティアグループを立ち上げそれぞれ活動している。

「ほっとランチ」としては夏に柳町町内会で蕎麦の会を開催、ケアプラザでもカレーパーティを開催し多数の参加があった。

町内会の夏祭りの際には、休憩所、お神輿ボランティア等で協力した。おしゃべりカフェ（お茶会）では近隣の障がい者施設から参加者があり、地域の方とも交流を深めている。

地域との連携では、町内会等が主催する「社明大会」「新年会」「まち普請会議」などに参加、地域との関係を深めた。

※ 実施状況は別紙

(2) 地域包括支援センター事業

相談に関しては、一人一人の状況に応じて必要な機関に繋ぐよう努めた。

近隣住民、民生委員、区役所等からの連絡により、サービス等が介入しておらず見守りが必要なケースについては、定期的に訪問・架電を行った。

ケースの対応に関して、三職種が連携を図りながら検討を行い、充実した対応を心がけた。

地域の身近な相談窓口として相談しやすい状況を作り、的確な情報提供を行うよう努めた。

地域からの依頼により、介護保険制度や包括支援センターについての説明や認知症予防講座を実施し、相談窓口としての周知を図った。

① 総合相談支援事業（電話・来所者の主な内容）

| | 介護保険 | 介護予防事業 | 行政サービス | インフォーマルサービス | 認知症（BPSD） | 認知症（医療） | 介護（※認知症以外） | 医療（※認知症以外） | 施設入所・入院 | 日常生活課題 | 苦情 | 成年後見制度・消費者保護 | 虐待 | その他 | 合計 |
|--------|------|--------|--------|-------------|-----------|---------|------------|------------|---------|--------|----|--------------|-----|-----|------|
| 平成27年度 | 624 | 6 | 13 | 26 | 73 | 47 | 58 | 121 | 27 | 142 | 4 | 23 | 23 | 197 | 1384 |
| 平成26年度 | 708 | 1 | 14 | 20 | 36 | 35 | 126 | 201 | 36 | 172 | 2 | 51 | 143 | 143 | 1543 |

（相談内容が複数にわたる場合あり、内訳数は相談・訪問件数を上回る）

② 権利擁護

ア 権利擁護に関する個別相談

23件（延べ件数）

内容 後見制度に関する相談（親族申立てや相続に関するもの）

虐待に関する相談（身体的虐待・経済的虐待・虐待疑いを含む）

イ その他、権利擁護事業に関する業務

- ・金沢区成年後見サポートネットワーク事業参加（3か月に一回）
- ・成年後見申立ての相談を受け、必要に応じて申立てに繋げている。
- ・虐待防止従事者研修に参加し、スキルアップを図った。
- ・虐待防止連絡会に参加し、関係機関との情報共有・連携について話し合いを行った。虐待にかかわる相談（疑い含む）については、区役所や関係機関と連携を取りながら対応を行った。
- ・消費者被害問題や成年後見に関する講演会を実施したり、チラシを配布したりすることで周知を図った。
- ・介護者が孤立することを防ぐため、介護者のつどいを毎月実施し、心身共にリフレッシュできるような企画を心がけた。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ア 担当エリア内のケアマネジャーからの相談件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 27年度 | 3 | 1 | 1 | 4 | 2 | 2 | 5 | 5 | 2 | 5 | 7 | 5 | 42 |
| 26年度 | 1 | 3 | 5 | 3 | 3 | 3 | 2 | 5 | 2 | 1 | 8 | 6 | 42 |
| 増△減 | 2 | △2 | △4 | 1 | △1 | △1 | 3 | 0 | 0 | 4 | △1 | △1 | 0 |

・必要時エリア内外の居宅介護支援事業所を訪問し、区からの最新情報の提供・ケアプラン作成個別相談等を行っている。

イ 事業等取り組みについて

《研修関係》

区主任ケアマネ部会主催：新任ケアマネジャー研修開催（年3回）

区主任ケアマネ部会・金沢ケアマネ倶楽部・金沢区役所共催：三者合同研修開催

区主任ケアマネ部会・保健師部会・社会福祉士部会共催：病院の相談員と包括の情報交換会開催

区主任ケアマネ部会南部地区共催：南部事例検討会開催（年2回）

区主任ケアマネ部会・金沢区薬剤師会共催：薬剤師と介護支援専門員との情報交換会開催

区主任ケアマネ部会・金沢区医師会共催：医師と介護支援専門員との情報交換会開催

《その他》

- ・ケアマネジャーからの相談について、必要に応じて同行訪問を行い、問題や課題の早期解決に取り組んだ。

ウ サービス担当者会議・カンファレンス支援

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 27年度 | 4 | 2 | 1 | 0 | 3 | 1 | 2 | 2 | 4 | 1 | 1 | 3 | 24 |
| 26年度 | 1 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 4 | 1 | 6 | 0 | 22 |
| 増△減 | 3 | 0 | 1 | △1 | 1 | 0 | 1 | △1 | 0 | 0 | △5 | 3 | 2 |

- ・処遇困難事例ケースに関しては区・担当ケアマネジャーと協働を行う。

④ 介護予防ケアマネジメント事業

ア 介護予防一般高齢者施策（65歳以上のすべての高齢者）への取り組み

介護予防・健康相談（ちょこっと相談）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 27年度 | 18 | 15 | 16 | 16 | 15 | 16 | 17 | 16 | 13 | 15 | 20 | 14 | 191 |
| 26年度 | 10 | 10 | 8 | 9 | 9 | 8 | 15 | 11 | 13 | 13 | 13 | 11 | 130 |
| 増△減 | 8 | 5 | 8 | 7 | 6 | 8 | 2 | 5 | 0 | 2 | 7 | 3 | 61 |

イ 介護予防二次予防事業対象者施策

（要支援・要介護状態となる恐れがある高齢への取り組み）

- ・二次予防事業対象者への支援（基本チェックリスト配布枚数44枚 該当者には個々に電話・対面にて健康状態のチェック、又柳町ケアプラザの自主事業の紹介をした。）
- ・二次予防事業対象者の把握
個別訪問や新規介護相談時、介護予防講座時に基本チェックリストを配布し状態を確認。
- ・介護予防普及強化業務
地域に出向き、地域包括支援センターの役割や介護予防の必要性について周知を図った。
講座を開催することにより、町内会の役員や地域住民との関わる機会が増え、顔の見える関係づくりや地域の情報や特性を知る良い機会となった。

「歯も体も元気 いつまでも健康で 全3回」 瀬ヶ崎西部町内会館

5月11日 運動講座 □コモ予防体操
5月18日 □腔講座 お口と歯のお話し
5月25日 運動講座 □コモ予防体操

「高齢者の脱水予防と認知症」 柳町町内会館

7月17日 脱水予防と認知症講座

「秋の健康講座全3回」 瀬戸町内会館

10月21日 □コモ予防体操
10月28日 栄養講座
11月 4日 □コモ予防体操

・介護予防自主化グループ

H27年度「やなぎウォーキング交流会」 柳町地域ケアプラザ ボランティアルーム

6月17日 （参加者5人） 活動報告と交流
8月 6日 （参加者5人） 活動報告と交流
9月24日 （参加者6人） 活動報告と交流

11月18日 (参加者5人) ハマともウォーキングDVD鑑賞と体操
 1月12日 (参加者6人) ハマともウォーキングDVD鑑賞と体操
 2月16日 (参加者3人) 権現山ウォーキング

交流会は全5回柳町ケアプラザ ボランティアルームで実施。
 活動報告や次回ウォーキングエリアの選定や人数、日程調整
 交流日以外でも自主的に集まり、年に数回ウォーキングや
 エリア内での介護予防講座に参加。

⑤ 介護予防支援事業

ア 平成27年度包括支援センター担当件数（給付管理票作成件数）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 27年度 | 42 | 41 | 42 | 42 | 43 | 44 | 46 | 43 | 42 | 42 | 42 | 40 | 509 |
| 26年度 | 40 | 41 | 42 | 43 | 41 | 39 | 38 | 42 | 42 | 42 | 43 | 43 | 496 |
| 増△減 | 2 | 0 | 0 | △1 | 2 | 5 | 8 | 1 | 0 | 0 | △1 | △3 | 13 |

※ 包括支援センター担当件数とは、包括支援センターで作成した件数

イ 平成27年度包括支援センター委託件数（給付管理票作成件数）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 27年度 | 64 | 65 | 67 | 70 | 75 | 73 | 75 | 74 | 83 | 82 | 79 | 80 | 887 |
| 26年度 | 65 | 59 | 61 | 58 | 63 | 59 | 67 | 61 | 62 | 67 | 68 | 68 | 758 |
| 増△減 | △1 | 6 | 6 | 12 | 12 | 14 | 8 | 13 | 21 | 15 | 11 | 12 | 129 |

※ 委託件数とは、包括支援センター以外の居宅介護支援事業所に委託契約を行い、介護支援専門員が作成した件数。

⑥ 地域ケア会議

地域の情報や課題を共有し、必要な支援体制の構築を図るために、地域ケア会議を開催した。個別ケース地域ケア会議を3回、包括レベル地域ケア会議を1回実施し、関係機関と顔の見える関係づくりや情報共有を行った。

(3) 居宅介護支援事業

常勤2名、非常勤2名の4名体制で1年間実施（常勤換算3.6名）。今年度は管理者が主任ケアマネジャーの資格を取得し、次年度「特定事業所」となることを目指した。

月に一回の会議を継続し、お互いのケースについて情報共有を図ると共に、お互いのスキルアップのために研修書籍を購入し、各自が読み込むようにした。又、外部研修への参加も積極的に行った。

主任ケアマネジャーの研修は11月～2月に渡ったため、その間積極的な新規契約を控えてきたことが、年度末時での契約者数に影響しているが、全体としては昨年を上回る実績となっている。

居宅事業ケアプラン作成数（年間）

| | | |
|------|------------|-----------|
| 27年度 | 介護プラン 1141 | 予防プラン 266 |
| 26年度 | 介護プラン 994 | 予防プラン 173 |

契約者数（平成27年3月31日現在）

| | 契約者数 | 内新規契約者数 | 終了者数 |
|------|-------------|-------------|------------|
| 27年度 | 介護 94、予防 21 | 介護 23、予防 11 | 介護 19、予防 7 |
| 26年度 | 介護 96、予防 17 | 介護 48、予防 10 | 介護 29、予防 3 |

金沢区等委託契約による介護認定調査件数（区との契約数は年間 130件）

| | |
|------|-------------|
| 27年度 | 148件(含区外1件) |
| 26年度 | 139件(含区外2件) |

（4）デイサービス事業

指定通所介護事業・指定介護予防通所介護事業

利用者・家族が安心してサービスを利用できるよう様々な部分での安全確認や研修等に積極的に参加しスキルアップに努めた。また、利用者の趣味や特技を把握し自分らしく楽しく過ごして頂けるようプログラム内容についての見直しを行った。

① サービス内容

ア 利用者の安全を第一に考え見守りを強化し、特に立ち上り時や歩行中の転倒防止に努めた。

イ 毎日のプログラムとして、利用者の身体機能の低下を防ぐために、リハビリ体操等を日常的に行うと共に、日常生活に必要な動作を数項目準備し、定期的に身体状況の確認をおこなった。また、希望者に個別機能訓練・運動器機能向上を実施し、身体機能維持と転倒予防に繋げた。

ウ レクリエーションの時間には、カラオケ・絵手紙・小物の創作活動・麻雀、個別レクなど提供し充実した時間を過ごして頂いた。

エ 入浴では、5月に菖蒲湯・12月に冬至湯（柚子湯）等で季節を感じて頂きながら、のんびりと入浴時間を楽しんで頂いた。毎月第三週は、お楽しみ湯として、様々な入浴剤を使用し、リラックスできる音楽などをかけて、くつろげる雰囲気づくりでの入浴を提供した。また入浴週間中は、通常使用のシャンプー・トリートメントの種類を変更し、いつもと違った雰囲気を満喫して頂いた。

オ 季節の行事では、ひな祭りや七夕、運動会、敬老大会、節分の豆まき等で、認知デイの利用者や保育園の園児、ボランティアと共に充実した楽しいひと時を過ごして頂いた。

カ 昼食では、月に一回郷土料理を提供し、日本各地の料理を楽しんで頂いた。お茶菓子では、おやつバイキングを実施した。そば打ち・すし職人による本格的なイベント食も開催し、利用者と一緒にそば打ちの体験もした。

キ ゆめ和柳町保育園との定期的な交流（月3回）を行なった。また、交流デッキの一部花壇を保育園に貸し出し、ひまわりやナスを植えて、一緒に水やりをして交流をした。

ク 開館日数 359日

介護度別利用状況（延べ利用者数）（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）単位：人

① 指定通所介護事業

| | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 総数 | 実施 日数 | 平均利用 者数/日 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|------|----------|--------------|
| 4月 | 253 | 207 | 153 | 53 | 13 | 679 | 30 | 22.6 |
| 5月 | 249 | 223 | 158 | 39 | 9 | 678 | 31 | 21.9 |
| 6月 | 246 | 210 | 149 | 38 | 11 | 654 | 30 | 21.8 |
| 7月 | 259 | 257 | 157 | 23 | 10 | 706 | 31 | 22.8 |
| 8月 | 215 | 271 | 164 | 19 | 15 | 684 | 31 | 22.1 |
| 9月 | 215 | 267 | 159 | 24 | 17 | 682 | 30 | 22.7 |
| 10月 | 226 | 292 | 138 | 25 | 22 | 703 | 31 | 22.7 |
| 11月 | 213 | 258 | 116 | 18 | 12 | 617 | 30 | 20.6 |
| 12月 | 212 | 232 | 97 | 12 | 11 | 564 | 28 | 20.1 |
| 1月 | 206 | 242 | 96 | 13 | 21 | 578 | 28 | 20.6 |
| 2月 | 214 | 252 | 94 | 45 | 26 | 631 | 29 | 21.8 |
| 3月 | 216 | 263 | 96 | 30 | 32 | 637 | 31 | 20.5 |
| 27年度 | 2724 | 2974 | 1577 | 339 | 199 | 7813 | 360 | 21.7 |
| 26年度 | 2719 | 2525 | 1649 | 862 | 113 | 7868 | 359 | 21.9 |
| 増△減 | 5 | 449 | △72 | △523 | 86 | △55 | 1 | △0.2 |

② 指定介護予防通所介護事業

| | 要支援 1 | 要支援 2 | 総数 | 実日数 | 平均利用者数/日 |
|------|-------|-------|------|-----|----------|
| 4月 | 54 | 19 | 73 | 30 | 2.4 |
| 5月 | 54 | 26 | 80 | 31 | 2.6 |
| 6月 | 53 | 38 | 91 | 30 | 3.0 |
| 7月 | 50 | 22 | 72 | 31 | 2.3 |
| 8月 | 48 | 25 | 73 | 31 | 2.4 |
| 9月 | 46 | 30 | 76 | 30 | 2.5 |
| 10月 | 43 | 28 | 71 | 31 | 2.3 |
| 11月 | 55 | 27 | 82 | 30 | 2.7 |
| 12月 | 54 | 35 | 89 | 28 | 3.2 |
| 1月 | 52 | 43 | 95 | 28 | 3.4 |
| 2月 | 53 | 48 | 101 | 29 | 3.5 |
| 3月 | 62 | 52 | 114 | 31 | 3.7 |
| 27年度 | 624 | 393 | 1016 | 360 | 2.8 |
| 26年度 | 561 | 348 | 909 | 359 | 2.5 |
| 増△減 | 63 | 45 | 107 | 1 | 0.3 |

介護度別登録者数（延べ登録者数）（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）単位：人

指定通所介護事業

| 介護度 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 総数 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 27 年度 | 331 | 394 | 189 | 56 | 40 | 1010 |
| 26 年度 | 344 | 323 | 195 | 101 | 18 | 981 |
| 増△減 | △13 | 71 | △6 | △45 | 22 | 29 |

指定介護予防通所介護事業

| | 要支援 1 | 要支援 2 | 合計 |
|-------|-------|-------|-----|
| 27 年度 | 154 | 65 | 219 |
| 26 年度 | 136 | 60 | 196 |
| 増△減 | 18 | 5 | 23 |

(5) 認知症対応型通所介護 かがやき

在宅での生活が安心して続けられるよう、家族や担当ケアマネとの連携を取りながらサービスへと繋げた。職員は様々な認知症研修に参加し「関わりを多く持つことによる精神的身体的な安定」の大切さを学び、利用者個々を尊重、傾聴し穏やかにすごしていただけた 27 年度の目標でもある「心からの笑顔」も沢山見る事が出来た
家族会も開催し ご家族からの貴重なお話しもあり、充実した時間となった。

① サービス内容

ア 日々の活動の中でフロア内環境を整えながらサービスの提供を行い、利用者には安心・安全に過ごしてもらった。また、日中の創作活動では、季節感を大切に貼り絵など利用者とともに作る事が出来た。

イ 園芸活動では野菜や花を植え成長する過程を楽しんだ。

ウ 菖蒲湯・柚子湯など、日本の習慣を取り入れたお風呂や、桜湯・清涼感のあるお湯など、四季の変化を意識した入浴内容にする事により、季節を感じながらの入浴時間を満喫して頂いた。

エ 屋外活動では、利用者の状況により近隣の公園に出かけ、自然の中で季節を感じて頂きながら、歩行訓練に繋げた。

オ 夏祭り・運動会では、一般デイの方々や保育園の園児・ボランティアとの交流を持つ事により、多くの方との社会交流の場に繋げる事が出来た。

カ 隣のゆめわ保育園より 0～2 歳児の子供たちが定期的の訪問があり 利用者の笑顔も増えた。

キ 家族会を開催し、家族の思いや悩み・経験談を聞き共有することができ、充実した時間となった。年間の活動写真をスライドショーで見えていただき、いつもの体操やレクリエーションなどにも参加していただき、様子を伝えこともできた。

ク 毎月の会議では事例検討会を行い職員間で情報を共有し認知症介護のスキルアップに繋げた。

ケ 毎月季節感を感じていただくカレンダー作りを利用者と共に実施した。

コ 開館日数 359 日

介護度別利用状況（延べ利用者数）（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月） 単位:人

① 認知症対応型通所介護事業

| | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 総 数 | 実施日 数 | 平均利用者 数/日 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|------|----------|--------------|
| 4月 | 51 | 73 | 110 | 20 | 0 | 254 | 30 | 8.5 |
| 5月 | 48 | 94 | 118 | 19 | 0 | 279 | 31 | 9 |
| 6月 | 49 | 91 | 102 | 19 | 0 | 261 | 30 | 8.7 |
| 7月 | 44 | 104 | 101 | 17 | 0 | 266 | 31 | 8.6 |
| 8月 | 46 | 101 | 92 | 5 | 0 | 244 | 31 | 7.9 |
| 9月 | 30 | 86 | 99 | 6 | 0 | 221 | 30 | 7.4 |
| 10月 | 34 | 86 | 102 | 6 | 0 | 228 | 31 | 7.4 |
| 11月 | 31 | 85 | 93 | 6 | 0 | 215 | 30 | 7.2 |
| 12月 | 38 | 74 | 80 | 6 | 0 | 198 | 28 | 7.1 |
| 1月 | 36 | 71 | 95 | 3 | 0 | 205 | 28 | 7.3 |
| 2月 | 53 | 74 | 87 | 10 | 0 | 224 | 29 | 7.7 |
| 3月 | 63 | 95 | 80 | 10 | 0 | 248 | 31 | 8 |
| 27年度 | 523 | 1034 | 1159 | 127 | 0 | 2843 | 360 | 7.9 |
| 26年度 | 377 | 1121 | 768 | 379 | 74 | 2719 | 359 | 7.6 |
| 増△減 | 146 | △87 | 391 | 252 | △74 | 124 | 1 | 0.3 |

② 介護予防認知症対応型通所介護事業

| | 要支援 1 | 要支援 2 | 総 数 | 実日数 | 平均利用者数/日 |
|------|-------|-------|-----|-----|----------|
| 4月 | 4 | 0 | 4 | 30 | 0.1 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 | 31 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 30 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 | 31 | 0 |
| 8月 | 2 | 0 | 2 | 31 | 0.1 |
| 9月 | 5 | 0 | 5 | 30 | 0.2 |
| 10月 | 4 | 0 | 4 | 31 | 0.1 |
| 11月 | 4 | 0 | 4 | 30 | 0.1 |
| 12月 | 3 | 0 | 3 | 28 | 0.1 |
| 1月 | 4 | 0 | 4 | 28 | 0.1 |
| 2月 | 4 | 0 | 4 | 29 | 0.1 |
| 3月 | 5 | 0 | 5 | 31 | 0.2 |
| 27年度 | 35 | 0 | 35 | 360 | 0.1 |
| 26年度 | 7 | 87 | 94 | 359 | 0.3 |
| 増△減 | 28 | △87 | △59 | 1 | △0.2 |

認知症対応型通所通所介護事業

| 介護度 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 総数 |
|------|------|------|------|------|------|-----|
| 27年度 | 53 | 107 | 102 | 28 | 0 | 290 |
| 26年度 | 40 | 98 | 86 | 53 | 7 | 284 |
| 増△減 | 13 | 9 | 16 | △25 | △7 | 6 |

介護予防認知症対応型通所介護事業

| 介護度 | 要支援1 | 要支援2 | 合計 |
|------|------|------|----|
| 27年度 | 9 | 0 | 9 |
| 26年度 | 3 | 14 | 17 |
| 増△減 | 6 | △14 | △8 |

(6) 認知症対応型通所介護 「やまゆり」

ご利用者の個性を尊重し、恵まれた環境の中で安心してご利用いただけるよう支援した。
 家族や担当ケアマネジャーと情報の共有も行いケアプランをもとに介護計画書を作成し在宅での生活が安心・安全に継続できるよう支援した。

ご利用者の個性や体調に留意し、明るい環境の中で安心してご利用いただけるよう支援した。また、家族やケアマネジャーと綿密に連絡を取り合い、ご利用者の状況の変化をいち早く察知し、在宅での生活も安心・安全に継続できるような支援も行った。

① サービス内容

ア 閑静な環境の中、地域の方々の丹精込めた公園の花に囲まれながらラジオ体操やボール投げ等楽しみ、心身の活性化に良い効果もみられる。また近隣の寺などへのお散歩は季節の花も楽しみながら併せて歩行訓練の目的も達成できた。

天気の良い日は、季節を実感していただくために屋外に出向き、歩行訓練を兼ねて散策を行ったり、町内会の餅つき大会に参加し、地域の方たちとの交流を図ったりすることができた。

イ 絵てがみの効果が大きく、自宅でもやりたいと準備される方や曜日に関係なくご本人の希望に随時対応している。皆様とともに育てたやまゆりの庭の季節の花々や、その季節を感じて頂けるような題材としている。

絵手紙やフラワーアレンジメントは継続的に行っており、季節の花・果物・野菜を題材に、思い思いの作品を作って、ご自身以外にもご家族によるこんでいただいている。また、日ごろ自宅では文化的な活動を行わない方にとって良い刺激にもなっている。

ウ 室内卓球は 人気があり、女性も男性も昔を思い出し多くの方が参加されている。パズルやカードゲーム、ボランティアさんによる麻雀や囲碁などにご参加していただくことにより、楽しみながら能力トレーニングを行えている。

エ 音楽ボランティア（民謡、ジャズ、コーラス等）色々なジャンルを楽しんで頂いた。音楽を通しての回想療法も目的とした。

2周年記念にて、職員による出し物を行った。大道芸の披露では、成功への期待感により、ご利用者と職員に一体感が生まれた。また、ギターに合わせた合唱では、音楽に合わせた発声により、さらに一体になることができた。

オ ガーデニングで収穫野菜を昼食に味わって頂いたり、花壇の花をフラワーアレンジメントでお楽しみいただいたりした。

ご利用者に、花壇やベランダの花へ水やり・種まきなどをやっていただき、草花の成長を楽しんでいただきました

カ 常に季節感を意識した献立とし、味よし、見た目よしの昼食にはご利用者だけでなく、ケアマネジャーやご家族にも好評だった。

常に季節感を意識した献立とし、毎月一回は、各地の郷土料理をお出しし、食べる事への楽しみを持っていただいた。

キ 開館日数 363日

介護度別利用状況（延べ利用者数）（平成27年4月～平成28年3月） 単位:人

| | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 総数 | 実施日数 | 平均利用者数/日 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|----------|
| 4月 | 12 | 94 | 112 | 14 | 0 | 232 | 30 | 7.7 |
| 5月 | 4 | 97 | 119 | 14 | 0 | 234 | 31 | 7.5 |
| 6月 | 4 | 77 | 128 | 20 | 0 | 229 | 30 | 7.6 |
| 7月 | 3 | 69 | 133 | 10 | 0 | 215 | 31 | 6.9 |
| 8月 | 3 | 51 | 141 | 9 | 0 | 204 | 31 | 6.6 |
| 9月 | 4 | 57 | 135 | 11 | 4 | 211 | 30 | 7.0 |
| 10月 | 3 | 45 | 142 | 12 | 6 | 208 | 31 | 6.7 |
| 11月 | 3 | 38 | 126 | 9 | 6 | 182 | 30 | 6.1 |
| 12月 | 4 | 38 | 115 | 27 | 6 | 190 | 28 | 6.8 |
| 1月 | 4 | 37 | 112 | 24 | 6 | 183 | 28 | 6.5 |
| 2月 | 4 | 37 | 107 | 26 | 4 | 178 | 29 | 6.1 |
| 3月 | 10 | 41 | 103 | 27 | 6 | 187 | 31 | 6.0 |
| 27年度 | 58 | 681 | 1473 | 203 | 38 | 2453 | 363 | 6.8 |
| 26年度 | 462 | 1304 | 986 | 71 | 254 | 3077 | 362 | 8.5 |
| 増△減 | △404 | △623 | 487 | 132 | △216 | △624 | 1 | △1.7 |

介護度別登録者数（延べ登録者数）（平成27年4月～平成28年3月） 単位:人

| 介護度 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 総数 |
|------|------|------|------|------|------|-----|
| 27年度 | 14 | 67 | 126 | 25 | 7 | 239 |
| 26年度 | 48 | 116 | 93 | 13 | 14 | 284 |
| 増△減 | △34 | △49 | 33 | 12 | △7 | △45 |

2 職員研修（人材育成）

法人（内部研修）

| 研修名 | 講師 | 参加人数 |
|-----------|----------------------------------|------|
| 人権研修 | 社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 新鶴見事業所 新井仁子 | 57 |
| メンタルヘルス研修 | まことの心クリニック 山田 耕一 | 50 |

ケアプラザ（内部研修）

| 研修名 | 講師 | 参加人数 |
|------------|--------------------------------|------|
| 介護保険制度について | 居宅介護支援事業 後藤礼子 | 15 |
| 福祉用具の基本のキ | 健康と介護の専門店 リップル 福祉用具相談員 色摩さん | 27 |
| AED講習会 | 金沢消防署・六浦出長所 向井さん | 30 |
| 認知症ケア | 樹診療所 山田先生 | 44 |

3 苦情について

事例①「デイサービスでの転倒事故による損害賠償請求の件」

(内容)

利用者（女性）が平成26年8月5日午後2時頃、デイサービスのレクリエーション（ボウリング）の際転倒し、病院を受診した結果、右大腿骨骨折の為手術し、入院となった。

その後デイサービスの利用は無かったが、平成27年6月22日、行政書士をしている家族が代理人となり「施設利用に伴う安全配慮義務を守らなかったことについて」損害賠償を請求する通知書が法人理事長及び地域ケアプラザ所長あて届く。

(事故の状況)

当時、利用者は、デイサービスで職員からの介助等をすべて拒否していた。レクリエーションへの参加時も介助を拒否し、一人でボウリングを行い、終了後、席に戻ろうとした際に転倒した。車椅子でソファーに移動後、看護師の血圧測定も拒否していた。介助や自身の体に触れられることを嫌がっていた。

（利用者は歩行は自立だが携帯用酸素を使用していた）

(事故後の対応)

利用者が手術後、所長とデイサービス主任で病院に見舞いに行く。

数日後、家族が来所。事故時の様子を確認したいとのことで、概要を説明する。

入院が継続していたが、本人、家族への連絡等は行えていなかった。

(損害賠償請求の通知書の内容)

「介護事業所はサービスの提供を受ける者の心身の状態を的確に把握し、施設利用に伴う転倒等の事故を防止する安全配慮義務を負うとされています。しかし、貴施設がその安全配慮義務を守られなかった結果、私は損害を受けました。」

治療費、入院雑費、傷害の慰謝料、後遺症の慰謝料 計 16,931 千円の請求。

(損害賠償請求後の対応)

① 法人が契約している保険会社に連絡。法人内で対応を協議。

② 平成27年7月1日：事務局長、所長で家族の勤務先を訪問。事故についての謝罪と請求内容の確認をおこなった。利用者本人への見舞いについて了解を得る。以降は保険会社が窓口となり対応する旨伝える。

③ 7月5日：所長及びデイサービス主任で利用者宅を訪問。

通知書とは異なる本人の様子が見られた。車いす生活とのことだったが、室内に手すりはあったが本人は自力歩行をして、部屋には車いすはなかった。住居のあるマンションはエレベーター等もなく階段を利用するしかない状況。

④ 7月8日：地域ケアプラザにおいて保険会社スタッフと打合せ。事故時の状況、利用者本人の日常の状況等を詳細に報告。施設の状況確認。

⑤ 8月13日：保険会社スタッフと打合せ。会社として「施設側に法的責任は認められない」との結論に至った。今後は担当弁護士が窓口となり、家族と対応するとのこと。

*保険会社通知文要点

「利用者に転倒の危険性が高かったとは認められず、今回の転倒を事前に予見して対処を行うべき注意義務があったとは評価できない」

(その後の状況)

保険会社から「施設に法的責任はなく、損害賠償請求には応じられない」旨の文書を家族宛て送付したが、何ら返答がない状況。

(課題)

利用者が入院を継続している間の連絡が家族も含めて十分にはできておらず、施設側への不信が増大した可能性がある。対応の仕方について反省点が多い。

4 平成 27 年度事業活動収支決算概要

① 通所介護（一般）事業活動収支総括表

| | 27 年度 | 26 年度 | 増減 | 備考 |
|----------------------------|------------|------------|-------------|-------------------------------------|
| 介護保険事業収入 | 84,905,441 | 87,044,586 | △2,139,145 | 年間一日当たり平均利用者数 介護 21.7 人/予防 2.8 人 |
| その他収入 | 0 | 69,750 | △69,750 | |
| サービス活動収益計(1) | 84,905,441 | 87,114,336 | △2,208,895 | |
| 人件費 | 66,619,583 | 56,956,862 | 9,662,721 | 常勤一名増員による |
| 事業費 | 12,839,008 | 12,899,147 | △60,139 | |
| 事務費 | 12,742,113 | 13,423,644 | △681,531 | |
| 減価償却費 | 6,571,435 | 6,718,034 | △146,599 | |
| 国庫補助金取崩額 | △4,783,007 | △4,797,139 | 14,132 | |
| サービス活動費用計(2) | 93,989,132 | 85,200,548 | 8,788,584 | |
| サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2) | △9,083,691 | 1,913,788 | △10,997,479 | |
| サービス活動外収益計(4) | 1,292,523 | 929,774 | 362,749 | |
| サービス活動外費用計(5) | 839,700 | 767,360 | 72,340 | 職員給食食材費 |
| サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5) | 452,823 | 162,414 | 290,409 | |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | △8,630,868 | 2,076,202 | △10,707,070 | |

② 通所介護（認知症対応型）事業収支総括表

| | 27 年度 | 26 年度 | 増減 | 備考 |
|----------------------------|------------|------------|------------|------------------------------------|
| 介護保険事業収入 | 41,429,062 | 39,851,324 | 1,577,738 | 年間一日当たり平均利用者数 介護 7.9 人/予防 0.1 人 |
| その他収入 | 0 | 23,250 | △23,250 | |
| サービス活動収益計(1) | 41,429,062 | 39,874,574 | 1,554,488 | |
| 人件費 | 28,379,666 | 29,323,655 | △943,989 | |
| 事業費 | 4,236,655 | 4,438,517 | △201,862 | |
| 事務費 | 3,971,413 | 4,148,297 | △176,884 | |
| 減価償却費 | 2,190,480 | 2,239,345 | △48,865 | |
| 国庫補助金取崩額 | △1,594,336 | △1,599,047 | 4,711 | |
| サービス活動費用計(2) | 37,183,878 | 38,550,767 | △1,366,889 | |
| サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2) | 4,245,184 | 1,323,807 | 2,921,377 | |
| サービス活動外収益計(4) | 302,508 | 290,009 | 12,499 | |
| サービス活動外費用計(5) | 261,000 | 289,920 | △28,920 | 職員給食食材費 |
| サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5) | 41,508 | 89 | 41,419 | |
| 経常増減差額(3)+(6) | 4,286,692 | 1,323,896 | 2,962,796 | |

③ 通所介護（認知症対応型・やまゆり）事業活動収支総括表

| | 27年度 | 26年度 | 増減 | 備考 |
|----------------------------|------------|------------|-------------|-------------------------|
| 介護保険事業収入 | 36,667,307 | 43,895,018 | △7,227,711 | 年間一日当たり平均利用者数 介護6.8人 |
| その他収入 | 0 | 0 | 0 | |
| サービス活動収益計(1) | 36,667,307 | 43,895,018 | △7,227,711 | |
| 人件費 | 30,923,509 | 27,640,783 | 3,282,726 | |
| 事業費 | 9,226,103 | 8,852,290 | 373,813 | |
| 事務費 | 1,854,486 | 1,544,332 | 310,154 | |
| 減価償却費 | 318,351 | 318,351 | 0 | |
| 国庫補助金取崩額 | 0 | 0 | 0 | |
| サービス活動費用計(2) | 42,322,449 | 38,355,756 | 3,966,693 | |
| サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2) | △5,655,142 | 5,539,262 | △11,194,404 | |
| サービス活動外収益計(4) | 1,420,360 | 585,547 | 834,813 | |
| サービス活動外費用計(5) | 596,600 | 584,937 | 11,663 | 職員給食食材費 |
| サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5) | 823,760 | 610 | 823,150 | |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | △4,831,382 | 5,539,872 | △10,371,254 | |

④ 居宅介護支援事業活動収支総括表

| | 27年度 | 26年度 | 増減 | 備考 |
|----------------------------|------------|------------|-----------|----------------------------------|
| 介護保険事業収入 | 15,557,980 | 13,126,022 | 2,431,958 | 年間プラン件数 1,407 介護 1,141/予防 266 |
| その他収入 | 0 | 0 | 0 | |
| サービス活動収益計(1) | 15,557,980 | 13,126,022 | 2,431,958 | |
| 人件費 | 14,117,192 | 13,280,325 | 836,867 | 常勤一名増員による |
| 事業費 | 0 | 0 | 0 | |
| 事務費 | 699,387 | 652,693 | 46,694 | |
| 減価償却費 | 165,994 | 203,108 | △37,114 | |
| 国庫補助金取崩額 | 0 | 0 | 0 | |
| サービス活動費用計(2) | 14,982,573 | 14,136,126 | 846,447 | |
| サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2) | 575,407 | △1,010,104 | 1,585,511 | |
| サービス活動外収益計(4) | 0 | 0 | 0 | |
| サービス活動外費用計(5) | 0 | 0 | 0 | |
| サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5) | 0 | 0 | 0 | |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | 575,407 | △1,010,104 | 1,585,511 | |

(別紙) 地域活動・交流事業

① 支えあい連絡会の開催 (平成27年4月～28年3月)

| | 開催数 | 参加人数 | テーマ・内容詳細等 |
|--------|-----|------|--------------------------|
| 平成27年度 | 1 | 23 | 地域ケア会議について、六浦東地区まちびしんの経過 |
| 平成26年度 | 2 | 43 | 地域の防災活動、地域包括ケア会議について |

② 広報紙及びチラシの発行 (平成27年4月～28年3月)

| | 広報紙 | チラシ | 配布先 |
|--------|-----|-----|------------------|
| 平成27年度 | 4回 | 62回 | 来館者・各町内会・関連機関に配布 |
| 平成26年度 | 4回 | 55回 | |

③ 貸館利用状況 (平成27年4月～28年3月)

| 件数 (単位: 件) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | H27 合計 | H26 合計 | 前年 比 | |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|-----------|---------|-----|
| | 多目的 | 午前 | 22 | 23 | 24 | 27 | 27 | 20 | 24 | 23 | 19 | 22 | 24 | 23 | | 707 |
| 午後1 | 17 | 14 | 20 | 24 | 24 | 18 | 17 | 17 | 22 | 18 | 19 | 20 | | | | |
| 午後2 | 16 | 17 | 18 | 16 | 13 | 10 | 12 | 17 | 14 | 15 | 13 | 18 | | | | |
| 夜間 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 1 | 3 | 4 | 2 | 3 | 0 | 3 | | | | |
| 調理室 | 午前 | 3 | 6 | 6 | 7 | 6 | 3 | 6 | 5 | 5 | 4 | 5 | 7 | 237 | 195 | 42 |
| | 午後1 | 5 | 7 | 7 | 6 | 8 | 5 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 10 | | | |
| | 午後2 | 4 | 5 | 6 | 7 | 6 | 5 | 7 | 8 | 6 | 7 | 8 | 8 | | | |
| | 夜間 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | | | |
| ホウ | 午前 | 9 | 6 | 9 | 10 | 11 | 9 | 10 | 15 | 9 | 6 | 9 | 11 | 368 | 364 | 4 |
| | 午後1 | 12 | 10 | 11 | 11 | 12 | 10 | 11 | 12 | 12 | 7 | 13 | 14 | | | |
| | 午後2 | 8 | 6 | 8 | 9 | 11 | 12 | 12 | 9 | 11 | 9 | 12 | 10 | | | |
| | 夜間 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 地域 | 午前 | 3 | 5 | 5 | 7 | 7 | 4 | 3 | 4 | 5 | 3 | 4 | 6 | 255 | 286 | -31 |
| | 午後1 | 4 | 8 | 8 | 6 | 7 | 5 | 6 | 9 | 9 | 9 | 8 | 12 | | | |
| | 午後2 | 2 | 4 | 3 | 3 | 4 | 5 | 6 | 8 | 8 | 6 | 6 | 8 | | | |
| | 夜間 | 3 | 5 | 4 | 5 | 4 | 4 | 6 | 4 | 3 | 3 | 0 | 4 | | | |
| 合計 | 108 | 116 | 131 | 142 | 140 | 112 | 135 | 144 | 133 | 120 | 130 | 156 | 1567 | 1567 | | |

稼働率

| 稼働率 (単位：%) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | H27 合計 | H26 合計 | 前年 比 | |
|---------------|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----------|-----------|---------|-----|
| 多目的 | 午前 | 76 | 83 | 83 | 90 | 90 | 69 | 60 | 79 | 70 | 81 | 86 | 77 | 79 | 79 | 0 |
| | 午後1 | 59 | 47 | 69 | 80 | 80 | 62 | 43 | 59 | 81 | 67 | 68 | 67 | 65 | 74 | -9 |
| | 午後2 | 55 | 57 | 62 | 53 | 43 | 34 | 30 | 59 | 52 | 56 | 46 | 60 | 51 | 63 | -12 |
| | 夜間 | 0 | 0 | 8 | 8 | 0 | 5 | 8 | 18 | 9 | 14 | 0 | 12 | 7 | 1 | 6 |
| 調理室 | 午前 | 10 | 20 | 21 | 23 | 20 | 10 | 17 | 17 | 19 | 15 | 18 | 23 | 18 | 14 | 4 |
| | 午後1 | 17 | 23 | 24 | 20 | 27 | 17 | 27 | 28 | 30 | 30 | 32 | 33 | 26 | 17 | 9 |
| | 午後2 | 14 | 17 | 21 | 23 | 20 | 17 | 20 | 28 | 22 | 26 | 29 | 27 | 22 | 14 | 8 |
| | 夜間 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 5 | 4 | 5 | 0 | 0 | 0 | 8 | 3 | 0 | 3 |
| ボラ | 午前 | 31 | 20 | 31 | 33 | 37 | 31 | 27 | 52 | 33 | 22 | 32 | 37 | 32 | 28 | 4 |
| | 午後1 | 41 | 33 | 38 | 37 | 40 | 34 | 30 | 41 | 44 | 26 | 46 | 47 | 38 | 47 | -9 |
| | 午後2 | 28 | 20 | 28 | 30 | 37 | 41 | 33 | 31 | 41 | 33 | 50 | 33 | 34 | 39 | -5 |
| | 夜間 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.3 | 0 | 0.3 |
| 地域 | 午前 | 10 | 17 | 17 | 23 | 23 | 14 | 7 | 14 | 19 | 11 | 14 | 20 | 16 | 14 | 2 |
| | 午後1 | 14 | 27 | 28 | 20 | 23 | 17 | 20 | 31 | 33 | 33 | 29 | 40 | 26 | 20 | 6 |
| | 午後2 | 7 | 13 | 10 | 10 | 13 | 17 | 17 | 28 | 30 | 22 | 21 | 27 | 18 | 11 | 7 |
| | 夜間 | 13 | 17 | 14 | 17 | 16 | 18 | 20 | 18 | 11 | 14 | 17 | 16 | 16 | 15 | 1 |

※ 多目的：多目的ホール ボラ：ボランティアルーム 地域：地域ケアルーム

| 利用人数 (単位人) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | H27 合計 | H26 合計 | 前年 比 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|-----------|---------|
| | 581 | 753 | 796 | 789 | 783 | 620 | 627 | 858 | 787 | 748 | 746 | 983 | 9071 | 9742 | -671 |

④ 自主事業実施状況

(平成27年4月～28年3月)

| | | 開催数 | 延参加者数 | 内 容 |
|--|-----|-----|-------|----------------------------------|
| 高 齢 者 支 援 | H27 | 12 | 140 | フラワーアレンジメント |
| | H26 | 12 | 148 | フラワーアレンジメント |
| | 前年比 | 0 | -8 | |
| 子 育 て 支 援 | H27 | 25 | 321 | あかちゃんといっしょ、子育てフリースペース、子育てイベント |
| | H26 | 24 | 248 | あかちゃんといっしょ、子育てフリースペース |
| | 前年比 | 1 | 73 | |
| 障 が い 児 者 支 援 | H27 | 13 | 99 | おひさま広場、サマーフレンド |
| | H26 | 13 | 116 | おひさま広場、サマーフレンド |
| | 前年比 | 0 | -17 | |
| 学 童 向 け | H27 | 8 | 63 | レゴパーク、小学生お菓子作り |
| | H26 | 18 | 51 | レゴパーク、クリスマスお菓子作り |
| | 前年比 | -10 | 12 | |
| 異 世 代 交 流 (小学生・高齢者) | H27 | 2 | 52 | 木エクラフト |
| | H26 | 2 | 36 | 木エクラフト |
| | 前年比 | 0 | 16 | |
| 男 性 向 け | H27 | 0 | 0 | |
| | H26 | 0 | 0 | |
| | 前年比 | 0 | 0 | |
| 健 康 作 り | H27 | 1 | 25 | てくてく金沢 |
| | H26 | 1 | 10 | てくてく金沢 |
| | 前年比 | 0 | 15 | |
| 福祉チャレンジ事業 ・車椅子介助体験 ・視覚障害者誘導介助体験 ・手話体験 ・点字体験 | H27 | 1 | 90 | 瀬ヶ崎小学校 |
| | H26 | 1 | 68 | 瀬ヶ崎小学校 |
| | 前年比 | 0 | 22 | |
| 福祉体験授業 | H26 | 0 | 0 | |
| | H25 | 0 | 0 | |
| | 前年比 | 0 | 0 | |
| 福祉保健、健康、暮らし | H27 | 2 | 34 | 医療講演会 |
| | H26 | 2 | 78 | 医療講演会、車椅子貸出 |
| | 前年比 | 0 | -44 | |
| ボランティア育成 | H27 | 10 | 71 | ボランティア感謝会、そば打ち講座、お菓子作りボランティア養成講座 |
| | H26 | 1 | 13 | ボランティア感謝会 |
| | 前年比 | 9 | 58 | |
| 地 域 交 流 | H27 | 5 | 159 | 輪飾り作り、団体交流会、ほっとランチ |
| | H26 | 6 | 206 | 輪飾り作り、ほっとランチ、ケアプラザ感謝祭 |
| | 前年比 | -1 | -47 | |
| 出 張 講 座 等 | H26 | 0 | 0 | |
| | H26 | 0 | 0 | |
| | 前年比 | | | |
| サ ロ ン | H27 | 24 | 748 | お茶会(サロン)、ほっとすペース(食事会) |
| | H26 | 23 | 680 | お茶会(サロ)ほっとすペース(食事会) |
| | 前年比 | 1 | 68 | |
| 合 計 | H27 | 103 | 1802 | |
| | H26 | 103 | 1654 | |
| | 前年比 | 0 | 148 | |

※共催及び後援事業を含む

資金収支計算書
(自)平成27年 4月 1日(至)平成28年 3月31日

(単位:円)

| 勘定科目 | | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A)-(B) | 備考 |
|---------------------------------|---------------|---------------|---------------|-------------|----|
| 事業活動による収支 | 収入 | | | | |
| | 介護保険事業収入 | 405,000,375 | 394,066,524 | 10,933,851 | |
| | 障害福祉サービス等事業収入 | 1,035,976,990 | 1,030,196,438 | 5,780,552 | |
| | 借入金利息補助金収入 | 331,200 | 331,200 | 0 | |
| | 経常経費寄附金収入 | 372,000 | 397,000 | △ 25,000 | |
| | 受取利息配当金収入 | 70,000 | 87,365 | △ 17,365 | |
| | その他の収入 | 20,332,630 | 21,625,500 | △ 1,292,870 | |
| | 事業活動収入計(1) | 1,462,083,195 | 1,446,704,027 | 15,379,168 | |
| | 支出 | | | | |
| | 人件費支出 | 1,031,869,959 | 1,014,075,557 | 17,794,402 | |
| 事業費支出 | 201,088,132 | 192,167,097 | 8,921,035 | | |
| 事務費支出 | 147,600,424 | 140,056,552 | 7,543,872 | | |
| 支払利息支出 | 331,200 | 331,200 | 0 | | |
| その他の支出 | 8,705,000 | 7,864,240 | 840,760 | | |
| 事業活動支出計(2) | 1,389,594,715 | 1,354,494,646 | 35,100,069 | | |
| 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | 72,488,480 | 92,209,381 | △ 19,720,901 | | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | | | | |
| | 施設整備等補助金収入 | 11,997,000 | 11,737,000 | 260,000 | |
| | 固定資産売却収入 | 65,550 | 65,550 | 0 | |
| | 施設整備等収入計(4) | 12,062,550 | 11,802,550 | 260,000 | |
| | 支出 | | | | |
| | 設備資金借入金元金償還支出 | 5,780,000 | 5,780,000 | 0 | |
| 固定資産取得支出 | 29,369,000 | 27,388,752 | 1,980,248 | | |
| 施設整備等支出計(5) | 35,149,000 | 33,168,752 | 1,980,248 | | |
| 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | △ 23,086,450 | △ 21,366,202 | △ 1,720,248 | | |
| その他の活動による収支 | 収入 | | | | |
| | 積立資産取崩収入 | 2,039,000 | 3,429,365 | △ 1,390,365 | |
| | その他の活動収入計(7) | 2,039,000 | 3,429,365 | △ 1,390,365 | |
| | 支出 | | | | |
| | 積立資産支出 | 17,019,000 | 16,471,995 | 547,005 | |
| | その他の活動による支出 | 30,720 | 28,680 | 2,040 | |
| その他の活動支出計(8) | 17,049,720 | 16,500,675 | 549,045 | | |
| その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | △ 15,010,720 | △ 13,071,310 | △ 1,939,410 | | |
| 予備費支出(10) | | — | | | |
| 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | 34,391,310 | 57,771,869 | △ 23,380,559 | | |
| 前期末支払資金残高(12) | 464,489,681 | 464,489,681 | 0 | | |
| 当期末支払資金残高(11)+(12) | 498,880,991 | 522,261,550 | △ 23,380,559 | | |

事業活動計算書
(自)平成27年 4月 1日(至)平成28年 3月31日

(単位:円)

| 勘定科目 | | 当年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) |
|------------------------|------------------------------------|---------------|---------------|-------------|
| サービス活動増減の部 | 収益 | | | |
| | 介護保険事業収益 | 394,066,524 | 392,100,277 | 1,966,247 |
| | 障害福祉サービス等事業収益 | 1,030,196,438 | 920,659,172 | 109,537,266 |
| | 経常経費寄附金収益 | 397,000 | 504,128 | △ 107,128 |
| | サービス活動収益計(1) | 1,424,659,962 | 1,313,263,577 | 111,396,385 |
| | 費用 | | | |
| 人件費 | 1,010,646,192 | 952,662,847 | 57,983,345 | |
| 事業費 | 192,167,097 | 189,933,295 | 2,233,802 | |
| 事務費 | 140,056,552 | 136,759,000 | 3,297,552 | |
| 減価償却費 | 65,577,505 | 64,503,864 | 1,073,641 | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △ 52,462,974 | △ 53,214,629 | 751,655 | |
| サービス活動費用計(2) | 1,355,984,372 | 1,290,644,377 | 65,339,995 | |
| サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | 68,675,590 | 22,619,200 | 46,056,390 | |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | | | |
| | 借入金利息補助金収益 | 331,200 | 353,280 | △ 22,080 |
| | 受取利息配当金収益 | 87,365 | 82,289 | 5,076 |
| | その他のサービス活動外収益 | 21,625,500 | 22,255,078 | △ 629,578 |
| | サービス活動外収益計(4) | 22,044,065 | 22,690,647 | △ 646,582 |
| | 費用 | | | |
| 支払利息 | 331,200 | 353,317 | △ 22,117 | |
| その他のサービス活動外費用 | 7,864,240 | 7,748,870 | 115,370 | |
| サービス活動外費用計(5) | 8,195,440 | 8,102,187 | 93,253 | |
| サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | 13,848,625 | 14,588,460 | △ 739,835 | |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | 82,524,215 | 37,207,660 | 45,316,555 | |
| 特別増減の部 | 収益 | | | |
| | 施設整備等補助金収益 | 11,737,000 | 12,191,419 | △ 454,419 |
| | 固定資産売却益 | 65,548 | 19,999 | 45,549 |
| | 特別収益計(8) | 11,802,548 | 12,211,418 | △ 408,870 |
| | 費用 | | | |
| | 固定資産売却損・処分損 | 3,486 | | 3,486 |
| 国庫補助金等特別積立金積立額 | 11,737,000 | 13,941,556 | △ 2,204,556 | |
| 特別費用計(9) | 11,740,486 | 13,941,556 | △ 2,201,070 | |
| 特別増減差額(10)=(8)-(9) | 62,062 | △ 1,730,138 | 1,792,200 | |
| 当期活動増減差額(11)=(7)+(10) | 82,586,277 | 35,477,522 | 47,108,755 | |
| 繰越活動増減差額の部 | 前期繰越活動増減差額(12) | 512,001,274 | 488,873,297 | 23,127,977 |
| | 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) | 594,587,551 | 524,350,819 | 70,236,732 |
| | 基本金取崩額(14) | | | |
| | その他の積立金取崩額(15) | | | |
| | その他の積立金積立額(16) | 16,471,995 | 12,349,545 | 4,122,450 |
| | 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16) | 578,115,556 | 512,001,274 | 66,114,282 |

貸借対照表
平成28年 3月31日現在

(単位:円)

| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
|-----------|---------------|---------------|--------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増減 | | 当年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 流動資産 | 603,789,453 | 527,005,213 | 76,784,240 | 流動負債 | 87,307,903 | 68,295,532 | 19,012,371 |
| 現金預金 | 355,146,623 | 304,159,420 | 50,987,203 | 事業未払金 | 64,827,270 | 46,959,709 | 17,867,561 |
| 事業未収金 | 208,630,745 | 185,794,015 | 22,836,730 | 1年以内返済予定設備資金借入金 | 5,780,000 | 5,780,000 | 0 |
| 未収補助金 | 5,994,361 | 7,689,556 | △ 1,695,195 | 預り金 | 293,941 | 0 | 293,941 |
| 貯蔵品 | 2,491 | | 2,491 | 職員預り金 | 11,368,869 | 11,468,307 | △ 99,438 |
| 立替金 | 13,335,131 | 10,667,843 | 2,667,288 | 前受金 | 2,112,496 | 1,998,496 | 114,000 |
| 前払費用 | 20,650,102 | 18,664,379 | 1,985,723 | 仮受金 | 2,925,327 | 2,089,020 | 836,307 |
| その他の流動資産 | 30,000 | 30,000 | 0 | | | | |
| 固定資産 | 1,448,754,553 | 1,473,646,419 | △ 24,891,866 | 固定負債 | 120,792,750 | 120,090,055 | 702,695 |
| 基本財産 | 1,188,100,677 | 1,239,509,597 | △ 51,408,920 | 設備資金借入金 | 63,140,000 | 68,920,000 | △ 5,780,000 |
| 建物 | 1,077,498,751 | 1,115,685,227 | △ 38,186,476 | 退職給付引当金 | 57,652,750 | 51,170,055 | 6,482,695 |
| 建物附属設備 | 110,601,926 | 123,824,370 | △ 13,222,444 | 負債の部合計 | 208,100,653 | 188,385,587 | 19,715,066 |
| その他の固定資産 | 260,653,876 | 234,136,822 | 26,517,054 | 純資産の部 | | | |
| 建物 | 4,080,329 | 4,221,578 | △ 141,249 | 基本金 | 58,506,000 | 58,506,000 | 0 |
| 建物附属設備 | 20,783,537 | 12,177,608 | 8,605,929 | 第1号基本金 | 58,506,000 | 58,506,000 | 0 |
| 構築物 | 5,590,716 | 6,217,631 | △ 626,915 | 国庫補助金等特別積立金 | 1,087,465,656 | 1,128,191,630 | △ 40,725,974 |
| 車輛運搬具 | 10,556,856 | 7,452,561 | 3,104,295 | その他の積立金 | 120,356,141 | 113,567,141 | 6,789,000 |
| 器具及び備品 | 20,989,446 | 20,280,695 | 708,751 | 移行時特別積立金 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 権利 | 13,530,557 | 13,718,913 | △ 188,356 | 修繕積立金 | 90,356,141 | 83,567,141 | 6,789,000 |
| ソフトウェア | 7,055,834 | 5,301,610 | 1,754,224 | 次期繰越活動増減差額 | 578,115,556 | 512,001,274 | 66,114,282 |
| 退職給付引当資産 | 57,652,750 | 51,170,055 | 6,482,695 | (うち当期活動増減差額) | 82,586,277 | 35,477,522 | 47,108,755 |
| 移行時特別積立資産 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 | | | | |
| 修繕積立資産 | 90,356,141 | 83,567,141 | 6,789,000 | 純資産の部合計 | 1,844,443,353 | 1,812,266,045 | 32,177,308 |
| 長期前払費用 | 57,710 | 29,030 | 28,680 | 負債及び純資産の部合計 | 2,052,544,006 | 2,000,651,632 | 51,892,374 |
| 資産の部合計 | 2,052,544,006 | 2,000,651,632 | 51,892,374 | | | | |

資金収支内訳表
(自)平成27年 4月 1日(至)平成28年 3月31日

(単位:円)

| 勘定科目 | | 社会福祉事業 | 公益事業 | 合計 | 内部取引消去 | 法人合計 |
|----------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 事業活動による収支 | 収入 | | | | | |
| | 介護保険事業収入 | 394,066,524 | | 394,066,524 | | 394,066,524 |
| | 障害福祉サービス等事業収入 | 947,258,548 | 82,937,890 | 1,030,196,438 | | 1,030,196,438 |
| | 借入金利息補助金収入 | 331,200 | | 331,200 | | 331,200 |
| | 経常経費寄附金収入 | 397,000 | | 397,000 | | 397,000 |
| | 受取利息配当金収入 | 87,365 | | 87,365 | | 87,365 |
| | その他の収入 | 21,170,300 | 455,200 | 21,625,500 | | 21,625,500 |
| | 事業活動収入計(1) | 1,363,310,937 | 83,393,090 | 1,446,704,027 | | 1,446,704,027 |
| | 支出 | | | | | |
| | 人件費支出 | 944,387,556 | 69,688,001 | 1,014,075,557 | | 1,014,075,557 |
| 事業費支出 | 188,974,597 | 3,192,500 | 192,167,097 | | 192,167,097 | |
| 事務費支出 | 130,933,503 | 9,123,049 | 140,056,552 | | 140,056,552 | |
| 支払利息支出 | 331,200 | | 331,200 | | 331,200 | |
| その他の支出 | 7,470,040 | 394,200 | 7,864,240 | | 7,864,240 | |
| 事業活動支出計(2) | 1,272,096,896 | 82,397,750 | 1,354,494,646 | | 1,354,494,646 | |
| 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | 91,214,041 | 995,340 | 92,209,381 | | 92,209,381 | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | | | | | |
| | 施設整備等補助金収入 | 11,737,000 | | 11,737,000 | | 11,737,000 |
| | 固定資産売却収入 | 65,550 | | 65,550 | | 65,550 |
| | 施設整備等収入計(4) | 11,802,550 | | 11,802,550 | | 11,802,550 |
| | 支出 | | | | | |
| 設備資金借入金元金償還支出 | 5,780,000 | | 5,780,000 | | 5,780,000 | |
| 固定資産取得支出 | 27,388,752 | | 27,388,752 | | 27,388,752 | |
| 施設整備等支出計(5) | 33,168,752 | | 33,168,752 | | 33,168,752 | |
| 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | △ 21,366,202 | | △ 21,366,202 | | △ 21,366,202 | |
| その他の活動による収支 | 収入 | | | | | |
| | 積立資産取崩収入 | 3,429,365 | | 3,429,365 | | 3,429,365 |
| | その他の活動収入計(7) | 3,429,365 | | 3,429,365 | | 3,429,365 |
| | 支出 | | | | | |
| | 積立資産支出 | 15,476,655 | 995,340 | 16,471,995 | | 16,471,995 |
| その他の活動による支出 | 28,680 | | 28,680 | | 28,680 | |
| その他の活動支出計(8) | 15,505,335 | 995,340 | 16,500,675 | | 16,500,675 | |
| その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | △ 12,075,970 | △ 995,340 | △ 13,071,310 | | △ 13,071,310 | |
| 当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9) | 57,771,869 | 0 | 57,771,869 | | 57,771,869 | |
| 前期末支払資金残高(11) | 464,489,681 | 0 | 464,489,681 | | 464,489,681 | |
| 当期末支払資金残高(10)+(11) | 522,261,550 | 0 | 522,261,550 | | 522,261,550 | |

事業活動内訳表
(自)平成27年 4月 1日(至)平成28年 3月31日

(単位:円)

| 勘定科目 | | 社会福祉事業 | 公益事業 | 合計 | 内部取引消去 | 法人合計 |
|-------------|------------------------------------|---------------|------------|---------------|--------|---------------|
| サービス活動増減の部 | 収益 | | | | | |
| | 介護保険事業収益 | 394,066,524 | | 394,066,524 | | 394,066,524 |
| | 障害福祉サービス等事業収益 | 947,258,548 | 82,937,890 | 1,030,196,438 | | 1,030,196,438 |
| | 経常経費寄附金収益 | 397,000 | | 397,000 | | 397,000 |
| | サービス活動収益計(1) | 1,341,722,072 | 82,937,890 | 1,424,659,962 | | 1,424,659,962 |
| サービス活動増減の部 | 費用 | | | | | |
| | 人件費 | 940,958,191 | 69,688,001 | 1,010,646,192 | | 1,010,646,192 |
| | 事業費 | 188,974,597 | 3,192,500 | 192,167,097 | | 192,167,097 |
| | 事務費 | 130,933,503 | 9,123,049 | 140,056,552 | | 140,056,552 |
| | 減価償却費 | 65,577,505 | | 65,577,505 | | 65,577,505 |
| | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △ 52,462,974 | | △ 52,462,974 | | △ 52,462,974 |
| | サービス活動費用計(2) | 1,273,980,822 | 82,003,550 | 1,355,984,372 | | 1,355,984,372 |
| | サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | 67,741,250 | 934,340 | 68,675,590 | | 68,675,590 |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | | | | | |
| | 借入金利息補助金収益 | 331,200 | | 331,200 | | 331,200 |
| | 受取利息配当金収益 | 87,365 | | 87,365 | | 87,365 |
| | その他のサービス活動外収益 | 21,170,300 | 455,200 | 21,625,500 | | 21,625,500 |
| | サービス活動外収益計(4) | 21,588,865 | 455,200 | 22,044,065 | | 22,044,065 |
| サービス活動外増減の部 | 費用 | | | | | |
| | 支払利息 | 331,200 | | 331,200 | | 331,200 |
| | その他のサービス活動外費用 | 7,470,040 | 394,200 | 7,864,240 | | 7,864,240 |
| | サービス活動外費用計(5) | 7,801,240 | 394,200 | 8,195,440 | | 8,195,440 |
| | サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | 13,787,625 | 61,000 | 13,848,625 | | 13,848,625 |
| | 経常増減差額(7)=(3)+(6) | 81,528,875 | 995,340 | 82,524,215 | | 82,524,215 |
| 特別増減の部 | 収益 | | | | | |
| | 施設整備等補助金収益 | 11,737,000 | | 11,737,000 | | 11,737,000 |
| | 固定資産売却益 | 65,548 | | 65,548 | | 65,548 |
| | 特別収益計(8) | 11,802,548 | | 11,802,548 | | 11,802,548 |
| 特別増減の部 | 費用 | | | | | |
| | 固定資産売却損・処分損 | 3,486 | | 3,486 | | 3,486 |
| | 国庫補助金等特別積立金積立額 | 11,737,000 | | 11,737,000 | | 11,737,000 |
| | 特別費用計(9) | 11,740,486 | | 11,740,486 | | 11,740,486 |
| | 特別増減差額(10)=(8)-(9) | 62,062 | | 62,062 | | 62,062 |
| | 当期活動増減差額(11)=(7)+(10) | 81,590,937 | 995,340 | 82,586,277 | | 82,586,277 |
| 繰越活動増減差額の部 | 前期繰越活動増減差額(12) | 512,001,274 | 0 | 512,001,274 | | 512,001,274 |
| | 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) | 593,592,211 | 995,340 | 594,587,551 | | 594,587,551 |
| | 基本金取崩額(14) | | | | | |
| 繰越活動増減差額の部 | その他の積立金取崩額(15) | | | | | |
| | その他の積立金積立額(16) | 15,476,655 | 995,340 | 16,471,995 | | 16,471,995 |
| | 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16) | 578,115,556 | 0 | 578,115,556 | | 578,115,556 |

貸借対照表内訳表
平成28年 3月31日現在

(単位:円)

| 勘定科目 | 社会福祉事業 | 公益事業 | 合計 | 内部取引消去 | 法人合計 |
|-----------------|---------------|------------|---------------|--------|---------------|
| 流動資産 | 589,785,729 | 14,003,724 | 603,789,453 | 0 | 603,789,453 |
| 現金預金 | 341,895,772 | 13,250,851 | 355,146,623 | | 355,146,623 |
| 事業未収金 | 208,437,598 | 193,147 | 208,630,745 | | 208,630,745 |
| 未収補助金 | 5,994,361 | | 5,994,361 | | 5,994,361 |
| 貯蔵品 | 2,491 | | 2,491 | | 2,491 |
| 立替金 | 12,896,365 | 438,766 | 13,335,131 | | 13,335,131 |
| 前払費用 | 20,529,142 | 120,960 | 20,650,102 | | 20,650,102 |
| その他の流動資産 | 30,000 | | 30,000 | | 30,000 |
| 固定資産 | 1,442,047,698 | 6,706,855 | 1,448,754,553 | | 1,448,754,553 |
| 基本財産 | 1,188,100,677 | | 1,188,100,677 | | 1,188,100,677 |
| 建物 | 1,077,498,751 | | 1,077,498,751 | | 1,077,498,751 |
| 建物附属設備 | 110,601,926 | | 110,601,926 | | 110,601,926 |
| その他の固定資産 | 253,947,021 | 6,706,855 | 260,653,876 | | 260,653,876 |
| 建物 | 4,080,329 | | 4,080,329 | | 4,080,329 |
| 建物附属設備 | 20,783,537 | | 20,783,537 | | 20,783,537 |
| 構築物 | 5,590,716 | | 5,590,716 | | 5,590,716 |
| 車輛運搬具 | 10,556,856 | | 10,556,856 | | 10,556,856 |
| 器具及び備品 | 20,989,446 | | 20,989,446 | | 20,989,446 |
| 権利 | 13,530,557 | | 13,530,557 | | 13,530,557 |
| ソフトウェア | 7,055,834 | | 7,055,834 | | 7,055,834 |
| 退職給付引当資産 | 50,945,895 | 6,706,855 | 57,652,750 | | 57,652,750 |
| 移行時特別積立資産 | 30,000,000 | | 30,000,000 | | 30,000,000 |
| 修繕積立資産 | 90,356,141 | | 90,356,141 | | 90,356,141 |
| 長期前払費用 | 57,710 | | 57,710 | | 57,710 |
| 資産の部合計 | 2,031,833,427 | 20,710,579 | 2,052,544,006 | 0 | 2,052,544,006 |
| 流動負債 | 73,304,179 | 14,003,724 | 87,307,903 | 0 | 87,307,903 |
| 事業未払金 | 51,845,569 | 12,981,701 | 64,827,270 | | 64,827,270 |
| 1年以内返済予定設備資金借入金 | 5,780,000 | | 5,780,000 | | 5,780,000 |
| 預り金 | 293,941 | | 293,941 | | 293,941 |
| 職員預り金 | 11,368,869 | 0 | 11,368,869 | | 11,368,869 |
| 前受金 | 2,112,496 | | 2,112,496 | | 2,112,496 |
| 仮受金 | 1,903,304 | 1,022,023 | 2,925,327 | | 2,925,327 |
| 固定負債 | 114,085,895 | 6,706,855 | 120,792,750 | | 120,792,750 |
| 設備資金借入金 | 63,140,000 | | 63,140,000 | | 63,140,000 |
| 退職給付引当金 | 50,945,895 | 6,706,855 | 57,652,750 | | 57,652,750 |
| 負債の部合計 | 187,390,074 | 20,710,579 | 208,100,653 | 0 | 208,100,653 |
| 基本金 | 58,506,000 | | 58,506,000 | | 58,506,000 |
| 第1号基本金 | 58,506,000 | | 58,506,000 | | 58,506,000 |
| 国庫補助金等特別積立金 | 1,087,465,656 | | 1,087,465,656 | | 1,087,465,656 |
| その他の積立金 | 120,356,141 | | 120,356,141 | | 120,356,141 |
| 移行時特別積立金 | 30,000,000 | | 30,000,000 | | 30,000,000 |
| 修繕積立金 | 90,356,141 | | 90,356,141 | | 90,356,141 |
| 次期繰越活動増減差額 | 578,115,556 | 0 | 578,115,556 | | 578,115,556 |
| (うち当期活動増減差額) | 81,590,937 | 995,340 | 82,586,277 | | 82,586,277 |
| 純資産の部合計 | 1,844,443,353 | 0 | 1,844,443,353 | | 1,844,443,353 |
| 負債及び純資産の部合計 | 2,031,833,427 | 20,710,579 | 2,052,544,006 | 0 | 2,052,544,006 |

